

商 工 労 政 課

○ 商工関係

1 消費生活関連事業

10月に消費生活センターを設置し、架空請求や悪質商法、クーリング・オフなど、増加する消費生活にまつわるトラブルに関し、専門相談員による相談を行った。電話または窓口にて相談者にアドバイスを行ったり、相談内容によっては、事業者への確認や交渉の手助けを行うなど、消費者問題の早期解決に努めた。

また、5月の消費者月間には、市内ショッピングセンターで悪質商法の注意を促すちらしを配付した。

消費生活相談件数	240件
----------	------

2 融資対策事業

小規模事業者の資金運営円滑化を図るため、三重県の融資制度である小規模事業資金等の貸付を受けた事業者に対して、保証料の補給または利子の補給補助を行った。

(1) 商工制度資金利子補給事業補助金

平成18年12月末までに小俣町商工会の斡旋により国・県の制度融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じ利子の補給補助を行った。

件数	利子補給補助金額	取扱金融機関名
9件	51,037円	第三銀行、中京銀行、日本政策金融公庫

(2) 小規模事業資金保証料補給補助金

伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により、三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。

件数	保証料補給補助金額	取扱金融機関名
201件	9,833,694円	百五銀行、第三銀行、三重信用金庫、中京銀行ほか

(3) 中小企業信用保険法の規定による特定中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や取引先の倒産などで緊急の事由により資金需要が発生した際、一定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠で信用保証による新たな

融資が受けられるように、「特定中小企業者」として認定し、中小企業者の資金調達の円滑化を図った。

認定要件	認定件数	根拠法令
全国的に業況の悪化している業種に属する中小企業者	363件	中小企業信用保険法第2条第4項第5号

3 中小企業振興対策

中小企業の経営改善及び経営強化を支援するため、伊勢商工会議所内にある伊勢中小企業相談所及び小俣町商工会の実施する事業に要する費用に対して、補助金を交付した。

助成団体	事業内容	補助金額
伊勢商工会議所 中小企業相談所	中小企業等に対する ・講習会、セミナーの開催 ・融資相談、経営指導、金融の斡旋 ・創業相談、労働保険相談 など	円 9,500,000
小俣町商工会	中小企業、個人商店等に対する ・経営指導や記帳指導 ・決算、年末調整、消費税申告指導 など	7,200,000

4 中心市街地活性化推進事業

(1) 空店舗対策事業

中心市街地商店街の集客力及び機能回復を促進することを目的に、市がいせTMO（事務局：商工会議所）が実施する「空店舗活用モデル事業」、「チャレンジショップ事業」に補助金を交付した。

これらの事業は、店舗開設希望者の創業及び経営支援となるばかりでなく、商店主の意識向上や商店街における賑わいの創出にも繋がっている。

ア 空店舗活用モデル事業

	商店街名	名称	開設日	補助金額
新規	明倫商店街	学びや	平成23年3月	円 855,990
計				855,990

イ チャレンジショップ事業

	商店街名	店舗名	業種	補助金額
新規	高柳商店街	愛してるん家	託児サービス	円 200,000
		(改装費)	—	147,000
計				347,000

(2) TMO構想推進協働事業

中心市街地を活性化させるためには、賑わいの場、もてなしの場、快適で楽しい暮らしの場としての再生が求められており、地域住民や商店街等の相互の連携と協力が重要であることから、まちづくりに取り組む活動拠点及び「いせTMO」の活動拠点を中心市街地に移設し、地区住民、商業者、行政、商工会議所等との連携を強化させながら、賑わい創出のまちづくりを展開してきた。

また、中心市街地PR事業として、各種イベントの開催やチャレンジショップの公募などの情報発信を行った。

(3) がんばる商店街集客促進事業

商店街を中心とした中小商業者が、地域住民の交流を図り、地域一体となって市内の賑わいを創出し商店街の活性化を図るとともに、参加店の意識改革と新規顧客の獲得を目指す事業に補助金を交付した。

(4) 各種調査事業

ア 空店舗調査

商店街名	平成 22 年 2 月			平成 23 年 3 月			前回比
	商店数	閉店数	閉店率	商店数	閉店数	閉店率	
伊勢市駅前	63 件	33 件	52.4 %	63 件	33 件	52.4 %	0.0 %
新道商店街	139	26	18.7	135	40	29.6	△10.9
高柳商店街	63	11	17.5	66	18	27.3	△ 9.8
浦之橋商店街	65	14	21.5	68	13	19.1	2.4
めいりん村	56	22	39.3	63	25	39.7	△ 0.4
計	386	106	27.5	395	129	32.7	△ 5.2

イ 商店街歩行者通行量調査

調査日 平成 23 年 2 月 5 日 (土)、12 日 (土)、19 日 (土)、26 日 (土)

午前 9 時から午後 6 時

商店街名	調査地点	平成 21 年度 天気：晴れ	平成 22 年度 天気：晴れ	増減
めいりん村	南入口	517 人	203 人	△314 人
	西入口	605	328	△277
	観光文化会館前	468	357	△111
外宮参道 発展会	シャレオサエキ前	1,990	2,013	23
	足立ビル前	674	472	△202
	伊勢駅前ビル跡地東側	1,904	2,084	180
	伊勢市駅前	282	496	214
	伊勢駅前ビル跡地西側	1,088	1,076	△ 12

伊勢市駅前 商店街	旧三交百貨店裏	372	366	△ 6
	伊勢ビル前	271	396	125
	伊勢ビル前鉄道側	1,039	737	△302
	相可屋楽器店前	292	387	95
新道商店街	東入口付近	916	716	△200
	東	900	764	△136
	中央	990	799	△191
	西	668	567	△101
さくら通り発展会	二富士前	162	65	△ 97
新町商店街	山甚ビル前	585	407	△178
栄町商店会	中央	193	153	△ 40
高柳商店街	東	946	823	△123
	中央	1,044	985	△ 59
浦之橋商店街	東入口付近	1,226	1,004	△222
	東	1,513	1,195	△318
	西	753	661	△ 92
筋向橋	渡辺石油前	444	848	404
二俣通り	出崎屋前	879	1,049	170
おはらいまち	浦田	—	21,394	21,394
	赤福本店前	—	35,340	35,340
	宇治橋前	—	44,648	44,648
総 数		20,721	120,333	99,612

今年度から、おはらいまちの3地点を新設し、その歩行者の通行量を計測した。

(5) 商業まちづくり補助金事業

中心市街地商店街、またはこれに類する団体の発展及び活性化を図ることを目的として、地域と一体となって消費者に魅力ある商店街づくりのために実施するいせTMO事業に補助金を交付し、事業（提案型）に対し補助金を交付した。

選 定 団 体	事 業 名	補助金額 円
明倫商店街協同組合	めいりん村ワクワク 100 円市事業	210,000
伊勢高柳商店街振興組合	観光情報調査事業	240,000
さくら通り発展会	伊勢ジャズストリート 2010 事業	120,000
浦之橋商店街振興組合	うらのはし軽トラ市及び日曜日リユース &リサイクルゾーン新設事業	250,000
計		820,000

5 物産販売促進事業

(1) 物産展等への出展

伊勢市産業振興会と連携して物産展等に出展し、販路の開拓及び特産品の宣伝に努めるとともに、伊勢の物産を紹介した観光パンフレット等を広く配布し、PRに努めた。

※物産展等の状況

開催日	開催場所	名称
22. 9. 19～20	日本スポーツマスターズ2010 三重県大会	三重県サンアリーナ周辺
22. 11. 28	第29回お伊勢さん健康マラソン	三重県営総合競技場体育館周辺
23. 2. 20	第4回美し国三重市町対抗駅伝	三重県営総合競技場陸上競技場周辺

(2) 販売業者等に対するセミナーの開催

伊勢志摩地域で活動する販売業者等の質的向上を図るため、伊勢中小企業相談所、伊勢市産業振興会、伊勢志摩地区観光土産品公正取引協議会の共催により、その会員向けに営業活動に関するセミナーを開催した。

開催日	開催場所	内容	参加者数
22. 11. 16	伊勢商工会議所 5階大ホール	営業実践セミナー 「実習で学ぶ!実践営業力向上セミナー」	32名
23. 3. 19	伊勢商工会議所 5階大ホール	営業実践セミナー 「実践!営業力向上の秘策」 ～営業力で不況に立ち向かうために～	45

○ 労政関係

1 雇用対策事業

(1) 若年求職者等支援事業

伊勢地域の雇用情勢は引き続き厳しい状況が続いており、また、求人と求職のミスマッチも大きく、併せて、若年者の雇用も厳しい状況にある。

この状況に対応するためにカウンセリング事業を実施し、若年求職者に対する各種情報提供や相談業務を行い、早期就職の支援に努めた。

○ カウンセリング事業

- ・実施期間 平成22年4月～平成23年3月（9月までは原則毎週火曜日、10月以降は毎月第2・第4火曜日）

おしごと広場みえ（三重県）と共同で開催

- ・委託先 社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部三重事務所
- ・委託料 473,479 円
- ・実績 カウンセリング件数 延べ 70 件

(2) 緊急雇用創出事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、短期的な雇用・就業機会の創出を目的として、38 事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数
外国人児童生徒支援事業	学校教育課	日本語支援が必要な外国人児童生徒の学習及び学校生活の支援を行った。	4 人
学校図書館活性化支援事業	学校教育課	子どもの読書活動推進のため、図書（資料）の受入れ、廃棄、データベース化、効果的な資料配架などの実施を通じて、学校図書館を活性化した。	6
危険物防火対象物施設データ整理事業	消防本部予防課	届出・許認可事務の記録となる危険物防火対象物台帳をデータ化した。	2
森林病虫害防除事業	農林水産課	台風等により倒木した松を、伐倒・集積し、処理場へ搬出するとともに、伐倒木撤去後の清掃を実施した。	3
固定資産税家屋調査票デジタル化及び照会システム導入事業	課税課	固定資産税家屋調査票をデジタル化し、データベース化した。	8
幼保一体化に係る推進事業	教育総務課	認定こども園の開設に向けて、新たな総合相談窓口を設置した。	2
伊勢市みえる化事業推進調査事業	広報広聴課	全国の地方自治体の広報活動に関する先進事例等を収集・研究することにより、伊勢市の市民への情報提供のあり方を改善した。	2
社会スポーツ団体等育成事業	生涯学習スポーツ課	総合型地域スポーツクラブの新設に向けた支援及び各種スポーツ関連団体の実施している各事業の運営に協力しながらこれをデータベース化し、類似団体等にその情報提供をすることを通じて各組織の強化を図った。	4
歴史的資料等整理事業	文化振興課	市の歴史的資料である旧市川造船所資料その他民俗資料等について、分類、写真撮影、カード作成、データ入力等を実施した。	4
公園園路等集中清掃事業	維持課	環境美化に資するため、公園の園路・街路広場等を集中的に清掃した。	2
交通安全施設点検事業	維持課	道路反射鏡及び道路照明灯を点検し、劣化・損傷等状況を把握した。	3
道路改良等要望箇所電子データ化事業	監理課	平成16年度から平成22年度までの7年間の地元要望（道路改良・側溝整備等）箇所を、M-G I Sへ入力し、電子データ化を図った。	1
木造住宅耐震化等促進啓発事業	危機管理課	住宅を戸別訪問して無料耐震診断の補助制度等をPRし、住宅の耐震化を促進した。	2

児童生徒自立サポート事業	教育研究所	学校の中で、教室に入れない児童生徒の、自立への意欲を高め、集団生活への適応が図られるよう支援した。	1	人
外国人登録法廃止に伴う閉鎖原票照会事業	戸籍住民課	外国人登録法廃止に伴い、外国人の住民基本台帳への住民登録を行うための事前準備を実施した。	1	
中高層建築物警防計画電子データ化事業	消防本部総務課	中高層建築物の警防計画を電子データ化することで、各消防部隊の情報共有化を図った。	1	
伊勢市消防のあゆみ編さん事業	消防本部総務課	伊勢市消防の沿革資料、記録写真、消防年報、文献等から伊勢市消防のあゆみを取りまとめた。	1	
消防水利施設等のデータベース化事業	消防本部総務課	管内の消防水利施設及び災害拠点施設等の地図を活用したデータベース化を行った。	1	
事務事業データ整理事業	情報調査室	各種事務事業のデータを整理し、事業コスト集作成等の基礎資料を整備した。また、市民投票制度の先進事例収集を行った。	1	
寿バス乗車券年度更新案内事業	長寿課	75歳以上の方に交付している寿バス乗車券の年度更新にかかる業務実施にあたり、窓口にて来庁者への案内を行った。	1	
保存文書等整理事業	二見総合支所地域振興課	合併後、新市として保管整理の統一がされていない旧二見町の保存文書及び二見総合支所で管轄する文書について分類整理を行った。	2	
市立保育所施設集中安全対策事業	こども課	市立保育所を巡回し施設の危険箇所を集中的に把握し、軽微な修繕で対応できる箇所を速やかに修繕した。	1	
軽自動車保有状況実地調査事業	課税課	軽自動車の保有状況について、より正確な実態把握のために、異動申告書等に基づく現地調査を実施した。	2	
介護給付適正化調査事業	介護保険課	介護給付の適正化を進め、介護保険の適正な運営を図るため、給付明細書の内容確認を行うとともに、介護給付をしている家庭への実態調査を実施し、介護の適正運用を啓発した。	2	
市営墓地及び廃棄物投棄所環境管理事業	環境課	市営墓地及び廃棄物投棄所内の樹木の枝葉が伸び利用者に迷惑がかかる場合があることから、繁殖した樹木の伐倒や剪定作業を実施した。	3	
一般住宅・共同住宅における排水設備調査台帳確認事業	環境課	排水設備台帳の精度を高めるため、伊勢市内の各世帯を調査し、集計することにより正確な汚水処理人口などを把握した。	11	
墓地管理調査事業	環境課	共同墓地における埋葬管理について適正に行われているかを調査した。	2	
建物台帳整備事業	管財契約課	建物台帳、市有財産集計、建物総合損害共済の台帳を照合し整理を行い、データベースを作成した。	1	
防犯パトロール事業	危機管理課	防犯パトロールを実施することにより、児童・生徒への不審者からの声かけ及び街頭犯罪等を抑止した。	6	
内宮周辺交通調査	交通政策課	内宮周辺の交通対策を検討するために必要な基礎資料として駐車場の利用状況、渋滞時の車両通過時間を調査した。	6	

財務情報等データ化事業	行政経営課	電子データ化されていない過去における予算、決算情報等のデータ化を図ったほか、会議録等を作成した。	1	人
伊勢市障がい者ニーズ調査	障がい福祉課	市内在住の障がい者、その保護者及び福祉施設等に対してアンケート調査を実施した。	1	
管理地樹木剪定等事業	人権政策課	樹木の剪定等を行い、落葉等による周辺住家への被害を防いだ。また、網込囲いを斜面に施し枯枝、枯葉などが滑り落ちるのを防ぐとともに新しい樹木の定着を図った。	3	
生活実態調査事業	人権政策課	人権施策基本方針策定及び人権施策推進の資料とするため、地域の生活実態調査を行った。	2	
生活保護費債権管理事業	生活支援課	生活保護費債権の管理台帳を作成して、ワーカーへの情報の提供を行うことにより、連携して返還金等の督促及び指導にあたった。	1	
市有地台帳整備事業	用地課	市有地台帳のシステム化にあたり、台帳記載内容と法務局における登記簿、公図等の登記資料との確認及び現地確認調査を実施し、市有地台帳の精度を高めた。	1	
企業の社会貢献と市民活動団体との連携調査	市民交流課	いせ市民活動センターでの活動実績を調査研究するとともに、その結果を基に企業の社会貢献とNPO活動団体を連携させ市民活動の促進を図った。	3	
資源拠点ステーション(大湊) 排出指導及び監視業務	清掃課	資源拠点ステーションにおいて資源ゴミの排出状況を監視し、分別等の徹底に向けた指導を実施した。	2	
合 計			100	

(3) ふるさと雇用再生事業

現下の厳しい雇用情勢に対処するため、今後の地域発展に繋がり、安定・継続的な雇用を創出することを目的として、3事業を実施した。

事業名	担当課	内 容	新規雇用のべ人数	
伊勢市観光推進事業	観光企画課	観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページの充実を図った。	2	人
観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業	観光企画課	市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時に観光客、従業員および住民がスムーズに避難するためのマニュアル作成の基礎調査業務として来訪者等の情報整理、詳細調査及びワークショップを開催した。	4	
日中一時支援事業(障害児放課後支援)	障がい福祉課	放課後や長期休暇中に、障がいのある児童に日中の活動場所を提供するとともに、保護者等の介護の負担軽減を図るため、障がいのある児童の一時預かり事業を行った。	7	
合 計			13	

2 勤労者福祉事業

(1) 中小企業勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、伊勢市、鳥羽市、玉城町で構成する（社）伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付している。

当初は、平成 10 年に、伊勢市、鳥羽市、二見町、小俣町、玉城町及び御菌村の 2 市・3 町・1 村で任意団体として広域設立されたが、社会的信用性の確保と公益性を明確にするために平成 15 年に社団法人化、その後、平成 17 年の市町村合併を経て、現在に至っている。

○ 実施事業

- ・生活安定事業、健康維持増進事業、旅行やスポーツ大会の開催、余暇活動事業、自己啓発事業 など

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社) 伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	八日市場町 13 番 13 号 (サンライフ伊勢内)	23,912,000 円 うち伊勢市負担金 10,300,000 円
会員事業所数	647 事業所	
登録会員数	3,886 人	

※事業所数、会員数は平成 23 年 3 月末現在

(2) 勤労者ふれあい事業

(社) 伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E・y o u・ゆ う・遊 i n g」を 10 月 10 日（日）に県営サンアリーナを会場に開催した。

当日は、市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約 20,000 人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。

3 高年齢者労働対策事業

○ 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高齢化社会が急速に進む中、高年齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した（社）伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。

名 称	所 在 地	補 助 金 額
(社) 伊勢市シルバー人材センター	伊勢市河崎 1 丁目 4 番 35 号	20,743,000 円

なお、平成 23 年 3 月末の活動状況は次のとおりであった。

会 員 数	延べ就業人数	受 託 件 数	契 約 金 額
929 人	77,328 人	3,720 件	325,476,878 円

4 サンライフ管理運営事業

勤労者福祉施設であるサンライフ伊勢について、平成 18 年 9 月から指定管理者制度に移行しているため、(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンターによる管理運営を実施した。

指 定 管 理 者	指 定 管 理 料 (平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月分)
(社)伊勢・鳥羽・度会地域中小企業勤労者福祉サービスセンター	5,582,000 円

○ 運営状況

ア 利用件数及び利用者数

区 分	研修室	会議室	職業講習室	教養文化室	体育室	トレーニング室	計
利用件数	件 378	件 155	件 568	件 309	件 840	件 18,689	件 20,939
利用者数	人 4,551	人 1,924	人 19,084	人 4,448	人 19,916	人 18,689	人 68,612

イ 利用料収入

区 分	施設利用料	設備器具 利用料	冷暖房設備 利用料	計
22. 4～23. 3	12,801,485 円	499,350 円	459,970 円	13,760,805 円

ウ 自主事業

区 分	講座の種類と講座数	講座回数	のべ受講者数
趣味づくり	9 種 11 講座	318 回	9,413 人
健康づくり	前期 8 種 9 講座 後期 7 種 9 講座	360 回	8,930 人
計	18 種 21 講座	678 回	18,343 人

5 労働福祉会館管理運営事業

○ 伊勢市労働福祉会館運営委員会

三重県伊勢庁舎の建替えに伴う移転の問題と、新労働福祉会館の改修計画等について、労働福祉会館運営委員会を開催し、協議を行った。

平成 23 年 3 月 25 日 労働福祉会館の経過について

・組 織

委員 長 副市長

副委員 長 産業観光部長

委 員 労働者を代表する者 4 名

公益を代表する者 4 名

市職員を代表する者 2 名

6 伊勢市やすらぎ公園プール

やすらぎ公園プールを開設し、勤労者と市民の福祉の増進と体力の向上を図った。

○ 開設状況

ア 開設期間 平成 22 年 7 月 3 日～8 月 31 日（通常営業 47 日間）

イ 有料入場者数

大人	小人	付添人	計
人 4,618	人 8,449	人 1,503	人 14,570

ウ 収入

入場料収入	ロッカー使用料	計
円 4,409,810	円 366,600	円 4,776,410

7 融資対策事業

（1）勤労者持家促進資金貸付金制度

市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が、市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入する時に、東海労働金庫の住宅貸付を利用した場合、その利子を軽減することで、勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は 10 年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0 件	0 円	7,500,000 円	2,444,286 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

（2）勤労者教育資金貸付金制度

市内に居住する勤労者がその親族に必要な教育資金について、東海労働金庫が実施する教育資金貸付を利用した場合、その利子を軽減することにより、勤労者の負担の緩和を図った。

利子軽減の財源は、市から東海労働金庫に預けた預金を原資とし、その運用益を充てている。なお、協調融資期間は 4 年間で、その期間中は低金利となっている。

新規融資件数	新規融資額	預託金額	協調残高
0 件	0 円	1,360,000 円	109,165 円

※市からの預託金額は、年度末に同額が東海労働金庫より返還された。

産 業 支 援 課

○ 企業立地推進事業

1 企業誘致活動の推進

各種企業展への参加及び、三重県、（財）日本立地センター等と情報交換し、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握に関する活動を実施すると共に、首都圏情報発信事業特命員と連携し企業訪問を実施した。また、県内・市内企業にも目を向け、工場新設及び増設計画の動向調査の実施や、下野工場団地組合等各種団体を訪問し、情報収集するとともに企業の工場進出について協力を依頼した。

○ 工場等誘致奨励事業

1 工業団地ならびに工場等誘致奨励制度の周知

サン・サポート・スクエア伊勢並びに、神菌工業団地への誘致・誘導を推し進めるため制定した伊勢市指定団地企業立地促進条例、伊勢市内共通の伊勢市工場等誘致奨励条例による優遇制度について、伊勢市ホームページ、新聞広告等に掲載し、周知に努めた。

2 工場等誘致奨励金の交付

本市の区域内に工場等を設置することを奨励し、本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、事業者の設置する工場等が操業を開始した後、最初に固定資産税が賦課される翌年度から3年間に亘り、固定資産税額の100%、75%、50%を工場等誘致奨励金として交付する。

奨励金の交付金の額の決定にあたっては、委員長を副市長とする審査委員会で審査したうえで決定した。

事業者名	交付決定額	概要
(有) 森井工業	1,065,750 円	(注) 伊勢市工場等誘致奨励条例 (2年度目)
京セラ (株)	1,306,200 円	(注) 伊勢市工場等誘致奨励条例 (初年度目)

(注) 1事業者に対し、3年間交付する。

○ 産業支援推進一般経費

1 企業支援員によるマッチング事業

市内の製造業を中心とした中小企業の活性化を図るため、製造業者個々の課題を把握し、その解決に向け、関連支援機関等への橋渡しや各種支援策の紹介を行い、企業の円滑な事業活動を支援する「企業支援員」3名を採用した。

2 (株) 三重 T L O への加入

企業と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進している(株) 三重 T L O に継続加入し、地元企業が学術機関へ技術相談したり、共同開発研究するための橋渡しを行うとともに、産学官連携の拠点と位置づけている。

また、地元企業の人材確保の足がかりとして、7月13日に三重大学と協力する形で、三重大学工学部の学生を対象に地元企業の見学会を開催し、企業概要や独自技術を学生に P R する場を地元企業に提供し、将来の雇用につながるよう努めた。

3 関係機関との連携のための情報収集

国・県・大学や高等専門学校をはじめとする支援機関・研究機関などと連携し、中小企業支援のメニューや試験設備の情報を収集するとともに、これら機関と支援体制の繋がりを太くした。

また、伊勢商工会議所については、企業支援の面における役割分担を明確にする中で、さらに密接な連携を図るとともに産業支援の研究会である「産業支援センター分科会」において支援事業等の検討を行った。

4 伊勢市産業支援センター運営協議会の開催

伊勢市産業支援センターの円滑かつ適正な運営を図るため、地元企業や関係団体などから構成される運営協議会を開催し、地域企業の意見を施策に反映したり、関係団体との連携・調整に努めた。

5 教員の企業見学会の開催

高校生の意識を市内の製造業者へ導いていき、伊勢市に将来の地域産業を担う若い戦力を市内企業にとどまらせ、フレッシュ化をはかることにより、市内製造業の活性化を図るため、南勢地域県立高校の教員 24 名が、3月2日と4日に別れ、名市内の企業 10 社を訪問しそれぞれの企業の内容を勉強した。

6 企業立地・産業支援研修会等への参加

地域活性化につながる企業立地・産業支援を一層推進するため、研修会等に参加し、職員の資質を高め、情報収集に努めた。

年月日	研修会名称	開催場所	主催者及び内容
H22. 4. 23	三重県企業立地セミナー	津市	三重県 今年度の企業誘致の進め方について
H22. 10. 19	混入異物分析講座	津市	三重県工業研究所
H22. 11. 18	機器分析による化学物質の測定講座	津市	三重県工業研究所
H22. 11. 18・19	第 116 回産業立地研修会	東京都	(財) 日本立地センター これからの成長産業
H22. 11. 5	電子デバイス産業セミナー	四日市市	三重県 環境・エネルギー革命を支えるデバイスの爆裂

H22. 11. 16	高圧ガス消費事業所保安講習会	伊勢市	三重県高圧ガス安全協会 高圧ガスの適正な管理について
H22. 11. 25	第1回ビジネスインキュベーション研究会	津市	(財)三重県産業支援センター 地域のB Iのあり方について
H23. 2. 15	第2回ビジネスインキュベーション研究会	四日市市	(財)三重県産業支援センター 産学官連携の取り組み 北海道のB I・I Mの取り組み
H23. 3. 3	企業立地推進研究会	東京都	(社)日本経営協会 企業立地動向と立地戦略

○ ものづくり推進事業

1 新産業創出支援事業補助金の交付

「新たな製品」を創り出せる優れた技術を持つ中小製造業者又は中小製造業者の団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、補助金を交付し、地場産業の活性化と企業力の強化を図った。

補助金の交付金額の確定にあたっては、大学教授をはじめとする学識経験者等から構成される審査会で事業経過及び実績等を審査したうえで確定した。

事業者名	交付確定額	事業内容
(株)松井鉄工所	1,939,000 円	固体触媒法によるバイオディーゼル燃料製造技術の開発事業

2 伝統工芸品等再生支援事業補助金の交付

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付し、伝統工芸の振興に努めた。

事業者名	交付確定額	事業内容
中川 忠峰	120,000 円	伊勢根付の後継者育成事業

3 伊勢市中小製造業マーケティング力強化支援事業

平成21年度に(財)中小企業総合研究機構へ依頼した調査研究により、機械金属関連を対象とした中小製造業のマーケティング力強化の方向性が明らかになり、その実現のために求められる支援策の提案を受けた。これに基づき下記の事業を行った。

(1) 産業支援センターによる情報発信機能の強化

伊勢市産業支援センターを中心に市内中小製造業の技術や設備等の情報をインターネット上で代替発信した。さらに、センターのホームページをリニューアルし、市内の中小製造事業に対する情報発信機能の強化を図った。

また名古屋市で開催された、しんきんビジネスマッチング「ビジネスフェア2010」の展示会視察ツアーを開催し、展示会を利用した大都市圏での情報発信の方法を市内企業に伝えた。

(2) 補完連携による受注窓口機能の強化支援

幅広い受注機会の確保につながる受注窓口機能の強化として、単一工程を担っている市内企業が相互に仕事をやり取りする体制をつくり、大手・中堅企業へのグループによる売り込みや提案活動も可能になる。まずは、仲間関係にある企業グループに対し、先進事例の研究やそれぞれのグループに適した受注窓口機能のあり方などについて検討する勉強会を行った。

4 企業支援情報の発信

市内中小製造業に対して、伊勢市産業支援センター及び関連機関の企業支援に関する情報を、メールマガジンとダイレクトメールにて情報提供を行った。

情報提供方法	情報提供企業数	送付件数
メールマガジン（Eメール）	約 170 社	27 回
ダイレクトメール（郵送）	約 550 社	4 回

5 企業データベース、企業カルテの整備

企業支援を行っていくうえで必要な情報を職員間で共有するため、企業の所在地・業務内容・取引先などの基礎情報を集約した「企業データベース」と、企業訪問やこれまでの支援経過を記録した「企業カルテ」を整備した。

6 伊勢みやげ 菓子1（カシワン）コンテストの開催

伊勢お菓子コンテスト実行委員会（委員長 倉世古和弘）へ委託し、新たな“伊勢みやげ”となりうるお菓子のアイデアを見つけ出し、またそれを普及する活動を通じて、観光地である伊勢市の産業振興を図り、元気あるまちづくりに寄与することを目的に、「伊勢みやげ 菓子1（カシワン）コンテスト」を開催した。

(1) 募集

- ア 募集期間 平成 22 年 8 月 1 日（日）～ 9 月 14 日（火）
- イ 応募対象 全国のアマチュア
- ウ 応募数 166 作品（146 名）

(2) 1次審査会

- ア 開催日時 平成 22 年 9 月 17 日（金）
- イ 開催場所 伊勢市役所 本庁舎 4－5 会議室
- ウ 審査員 10 名
- エ 内 容

全国から応募のあった 166 作品に対して、審査員 10 名により書類審査を行い、決勝審査会へ進出する 15 作品の選定を行った。また、小学生からの応募作品についてはキッズ賞を選定した。

(3) 決勝審査会

ア 開催日時 平成 22 年 10 月 23 日 (土)

イ 開催場所 伊勢調理製菓専門学校

ウ 審査員 13 名

エ 内 容

審査員 13 名により、1 次審査を通過した 15 作品に対して試食審査を行い、受賞作品 8 作品の選定を行った。

(4) お披露目会

ア 開催日時 平成 22 年 11 月 21 日 (日)

イ 開催場所 おかげ横丁・名産味の館 2 F 「大黒ホール」

ウ 来場者数 2,000 名

エ 内 容

入賞作品の中から数点を選び、来場者へ試食提供を行うとともに、この事業の内容や経過の P R を行った。

7 技術講習会・講座等の開催

(1) 漆芸講座

漆芸技術の向上と人材の育成を目的として漆芸講座を開催し、蒔絵・拭漆・伊勢春慶・彩漆・乾漆等の技法に取り組んだ。(昭和 61 年 5 月から開催)

ア 開催日 毎週火曜日 (週 1 回)

イ 回 数 47 回

ウ 場 所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

エ 講 師 元・神宮司庁 神原 佑司 氏

オ 受講者数 15 人 (延べ 447 人)

(2) 伊勢春慶塗教室

伝統工芸品である伊勢春慶の普及啓発の一環として、これまで漆塗りを体験したことのない人を対象に、木製の弁当箱へ伊勢春慶塗を施す一連の流れを体験してもらった。

ア 開催日 平成 22 年 6 月 2 日 (水) ~ 7 月 28 日 (水) 毎週水曜日 全 9 回

イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 漆芸室

ウ 講 師 元・工芸指導所長 西井 幸平 氏

エ 受講者数 6 人 (延べ 54 人)

(3) 木工講座

市内の木工産業の振興を目的に、優れた木工技術を持つ技術者の育成を図るために行い、木工の技術・技法の習得、木工道具の仕込みの習得のための指導を行った。講座開催日以外にも自主活動日を設定し、受講生の技術の向上を図った。

- ア 開催日 月2回（第2・4木曜日）
- イ 講座回数 24回
- ウ 開催場所 伊勢市産業支援センター 作業実習室
- エ 講師 家具職人 井坂 益水 氏
- オ 受講者数 10人（延べ223人）
- カ 自主活動 24回、9人（延べ124人）

8 ものづくりセミナーの開催

(1) ビジネス英語セミナー

- ア 開催日 平成22年6月1日（火）～9月21日（火） 全6回
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 皇學館大学 教授 豊住 誠 氏
- エ 受講者数 10人（延べ49人）
- オ 内容 Webサイトに掲載されている英字ニュース等の読解

(2) 環境とエネルギーを考えるセミナー

～エコと地産地消のキーワードにあるビジネスチャンス～

- ア 開催日 平成22年9月10日（金）
- イ 開催場所 伊勢商工会議所 5階 大ホール
- ウ 講師 慶應義塾大学大学院・政策メディア研究科 教授 金谷 年展 氏
- エ 受講者数 55名
- オ 内容 今後の環境問題を見据えた企業経営・戦略

(3) 5Sと生産管理 ～勝ち残ろう中小企業～

- ア 開催日 平成22年10月18日（月）、10月25日（月）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 （財）三重県産業支援センター
産学連携技術者育成コーディネーター 小澤 二二雄 氏
- エ 受講者数 34人（延べ59人）

(4) 品質管理

- ア 開催日 平成22年11月1日（月）、11月15日（月）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 （株）ブライツ・ワン 代表取締役 橋本 寿士 氏
- エ 受講者数 33人（延べ48人）

(5) 5S・PMと安全管理は血縁関係

- ア 開催日 平成22年11月29日（月）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 （財）三重県産業支援センター
産学連携技術者育成コーディネーター 小澤 二二雄 氏
- エ 受講者数 19人

(6) ホームページ制作基礎セミナー

- ア 開催日 平成23年2月4日(金)～3月4日(金) 毎週金曜日 全4回
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ ホームページ制作基礎セミナー～自社のホームページを作ってみませんか～
- エ 講師 (有) オフィスパティ 深谷 光子 氏
- オ 受講者数 11人(延べ41人)

(7) 伊勢市中小製造業のマーケティング力強化に向けた具体的支援事業説明会

- ア 開催日 平成22年9月21日(火)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 伊勢市産業観光部産業支援課産業支援係 係長 積木 哲史
- エ 受講者数 15名

(8) 展示会事前セミナー

- ア 開催日 平成22年10月20日(水)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 中小機構中部支部経営支援アドバイザー 鬼頭 義朗 氏
- エ 受講者数 13名

(9) マーケティング力強化支援セミナー

- ア 開催日 平成22年11月25日(月)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ テーマ グローバル化の中での日本のものづくりと中小企業支援
- エ 講師 日本マニファクチャリングサービス(株)
執行役員 事業本部 副本部長 兼 事業戦略部長 程原 将行 氏
- オ 受講者数 11名

(10) SEO対策セミナー

- ア 開催日 平成23年2月23日(水)
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 講師 シンキングネットワークス株式会社 代表取締役 南山 智之 氏
- エ 受講者数 28名

9 企業セミナーの開催協力・支援

(1) 製造管理者育成講座

- ア 開催日 平成22年9月2日(木)～12月24日(金) 全11日間
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
シンフォニアテクノロジー(株) 五十鈴寮研修室
- ウ テーマ 職場管理の基本、環境マネジメント、危機管理、品質管理、
製造シミュレーション、生産管理、設備管理、モノづくりと能力開発
職場の問題解決、企業におけるITの活用

エ 講師 シンフォニアテクノロジー（株） 能力開発センター 村山昌彦 氏
 (財) 三重県産業支援センター 小澤二二雄 氏
 鈴鹿高専・鳥羽商船高専客員教授 澄野久生 氏

オ 受講者数 24 人 (延べ 224 人)

カ 主催者 (財) 三重県産業支援センター

10 受託試験 (各種材料試験)

F R P 新造船の材料試験 (船舶安全法により、F R P 特殊基準が定められており、12m以上のF R P 新造船は、日本海事協会 (NK) 検定承認を受けた試験機による検査が義務付けられている。) などを行った。

試験件数 8 件

11 専門家派遣支援事業補助金の交付

財団法人三重県産業支援センターが実施する専門家派遣事業を活用する市内中小企業者に対し、その費用の一部について予算の範囲内で補助金を交付した。

事業者名	交付確定額	事業内容
(株) ホーペック	45,000 円	顧客満足度向上のための指導
(株) スペースアート	45,000 円	開発商品「かがり火照明」の販路拡大及び応用商品開発に関する指導
(有) 長谷川工業所	45,000 円	リスクアセスメント手法の導入における安全衛生活動及び年度計画遂行時の指導
三健食品 (株)	45,000 円	みえ農商工連携推進ファンド助成金申請に向けての指導

12 研修会及び展示会での情報収集・情報発信

市内製造業者への支援のための情報収集及び情報発信を目的に、研修会及び展示会に参加した。

年月日	研修会・展示会名称	開催場所	主催者
H22. 5. 27	中小企業総展 2010 in Kansai	大阪府	独立行政法人 中小企業基盤整備機構
H22. 10. 14	ビジネスマッチング博 2010	大阪府	八尾市産業博開催実行委員会

13 化学分析機器、木工機械等の使用貸出

使用機器・機械	件数
化学分析機器の使用	31 件
木工機械の使用	12 件
機器貸出	3 件

○ 起業支援推進事業

1 起業支援員の配置

新しい事業の実現のため、起業家とともに課題を分析し、解決のための手法の提案や、経営・財務など専門家との連携など、起業家の事業家活動を総合的にサポートする起業支援員を配置するため、民間企業に業務を委託した。

- ア 委託事業名 起業支援員の業務委託
- イ 委託期間 平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで
- ウ 実施場所 伊勢市産業支援センター
- エ 契約金額 4,784,400 円
- オ 委託先 (株) アーリー・バード

2 起業家支援室の使用実績

事業者名または個人名	使用期間	事業内容
(有) パイン・メディテック	平成 20 年 4 月から 平成 23 年 3 月まで	伊勢（三重）の伝統薬の開発・販売
(株) ネットステップ	平成 20 年 4 月から 平成 23 年 3 月まで	通信の総合監視・管理システム の研究開発
貫じん堂	平成 21 年 4 月から	地元産業の企画・広報・営業支援事業
合同会社 X-TREME COMPOSITE JAPAN	平成 21 年 4 月から	模型飛行機の輸入販売やイベント企画、 産業用飛行機の組立・販売
KickSmash21	平成 21 年 4 月から 平成 23 年 3 月まで	地域番組・CM 制作、ホームページ制作

3 起業準備支援室の使用実績

使用者名	使用期間	事業内容
田畑 安敏	平成 22 年 4 月から 平成 22 年 5 月まで	不動産賃貸
メダボン	平成 22 年 4 月から 平成 23 年 3 月まで	めだかの養殖・WEB 販売
アルス・フローラ	平成 22 年 11 月から	地域ブランドの企画提案・コンサルティング
社労士 office ウェルキャリア	平成 23 年 2 月から	人材採用サポート・人材紹介・人事労務 管理業務の代行

4 セミナー、イベント等の開催

経営者だからこそ、話せる実践起業講座～夢をカタチ（起業）にする方法～

- ア 開催日 平成 22 年 11 月 24 日（水）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内 容 ポジティブ思考転換方法、起業の壁の乗り越え方、起業体験談の紹介
- エ 講 師 キャリア・プレイス 代表 伊藤 登代子 氏
- オ 受講者数 46 人

5 セミナー、イベント等の開催協力・支援、及び出展

(1) 宇治山田商業高校「ネットショップ」授業（1日目）の講師協力

- ア 開催日 平成 22 年 6 月 24 日（木）
- イ 開催場所 三重県立宇治山田商業高等学校
- ウ 内 容 企業の存在意義、経営の要点などについて
- エ 講 師 創業支援員 三田 泰久 氏
- オ 受講者数 26 人

(2) 宇治山田商業高校「ネットショップ」授業（2日目）の講師協力

- ア 開催日 平成 22 年 9 月 9 日（木）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内 容 起業家の起業動機、体験談の紹介
- エ 講 師 創業支援員 三田 泰久 氏
起業家支援室等使用者 4 人
- オ 受講者数 26 人

(3) 起業道場（デジカメ撮影技術）の協力

- ア 開催日 平成 22 年 9 月 5 日（火）
- イ 開催場所 伊勢市産業支援センター 研修室
- ウ 内 容 デジタルカメラによる撮影方法と基礎知識の習得
- エ 講 師 写真家 松原 豊 氏
- オ 受講者数 6 人

(4) 皇學館大学ビジネスプランコンテストへの審査員の協力

- ア 開催日 平成 23 年 1 月 23 日（日）
- イ 開催場所 皇學館大学 伊勢学舎
- ウ 内 容 大学生や高校生などを対象に、地域活性化に寄与する事業計画を競う
公開プレゼンテーション大会
- エ 主催者 皇學館大学

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

1 伊勢地域農業共済事務組合事業

農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。

伊勢市負担分 36,152,000 円

構成7市町 伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町

2 農業経営基盤強化促進事業

(1) 「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者が作成した農業経営改善計画を認定し、この改善計画の推進を支援した。

認定農業者件数 111 件 (平成 23 年 3 月末現在)

22 年度新規認定 9 件

事業費 330,640 円 (市単独事業)

(2) 効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等への農地の利用集積を進めた。

○ 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権等設定面積

区 分	面 積 (ha)		
	田	畑	計
利用権設定 (累積)	382.4	12.1	394.5
H22. 4~H23. 3 実績			
設 定	125.6	1.6	127.2
中途解約・期限切れ等	63.5	4.6	68.1
所有権移転	0.6	0	0.6

3 利子補給補助事業

効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者を支援するため、経営改善のための農業近代化資金等の借入れに際し、発生する利子の一部を助成した。

資金名		借入件数	借入残高	利子補給額	備考
農業近代化資金	上半期	71 件	202,248,000 円	329,064 円	市単独事業
	下半期	78	230,674,000	327,407	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		5	91,736,085	272,320	うち県補助金 133,906 円

4 遊休農地活用事業

遊休農地は近隣農地へ悪影響を与える、集団的土地利用を阻害するなどの農業経営上の問題ばかりでなく、農地の持つ多面的機能の喪失にもつながるため、遊休農地を解消し、活用することで、地域農業の振興や農村環境の保全を図った。

実施地区	事業内容	実施面積	事業費	備考
二見町西・松下地区	草刈・耕起業務、そば・菜種・蓮の植栽(委託)	m ² 15,023	円 1,000,000	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (国 1/2、市 1/2)

5 農地利用集積円滑化事業

担い手への農地の利用集積を促進するため、市が承認する農地利用集積円滑化団体が行う効率的な農地の利用調整活動を支援し、認定農業者等の効率的な農地利用の推進を図った。

利用集積面積	事業費	備考
m ² 58,439	円 1,168,780	農用地利用集積特別対策事業【農地利用集積事業】 (全額国補助金)

6 生産調整推進対策事業

- (1) 米穀の需給と価格の安定を図るため、伊勢市水田農業推進協議会を主体とした地域農業者・農業団体が主体的に取り組む米の需給調整を推進・支援した。

生産調整推進対策の実績

	20年産	21年産	22年産
水稻作付面積目標	1,600 ha	1,639 ha	1,550 ha
作付段階における主食用作付面積	1,966	1,809	1,774

- (2) 小俣地区の集団小麦に対する市単独助成にかかる作付状況の確認及び支払い等の業務を伊勢市水田農業推進協議会へ委託し、転作作物の作付け拡大を図った。

委託金額 2,774,805 円 (市単独事業)

7 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。

農用地利用計画変更面積：平成 22 年度除外決定分

利用計画変更分	件数	面積
農用地除外	48 件	58,215 m ²
用途区分変更	10	1,113

また、市内全域を俯瞰した農業振興地域図を作成するにあたり、農業振興地域図データの作成を行った。

事業費 1,633,100 円 (市単独事業)

8 農業振興事業

農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。

(1) 蓮台寺柿保存育成事業補助金

350年の歴史をもち、市の天然記念物である蓮台寺柿の宅地開発等による減産傾向に歯止めをかけ、地域の特産物として保存育成するため、苗木育成、共同防除その他の事業を支援することで、栽培農家の振興と経営の安定を図った。

事業主体	蓮台寺柿保存育成研究会
事業費	90,000円
補助額	16,200円

(2) 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先	伊勢志摩指導農業士会
補助額	140,000円 (20,000円/1名×市内在住7名分)

(3) 三重県伊勢志摩青年農業士会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対し、助成金を交付し支援を行った。

交付先	伊勢志摩指導農業士会
補助額	30,000円 (10,000円/1名×市内在住3名分)

(4) 青ねぎ集出荷施設整備事業補助金

国の指定産地として指定を受け、当市を代表する作物である青ねぎについて、生産規模の拡大やブランド化の堅持に向け、伊勢農業協同組合が行う青ねぎ集出荷施設の整備を支援する。

事業主体	伊勢農業協同組合
事業費	308,000,000円
補助金交付決定額	28,499,000円 (平成23年度へ繰越)

9 戸別所得補償制度推進事業

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物を対象に、その差額を交付することにより、農業経営の安定と国内生産力の確保を図った。

事業費	6,931,000円 (全額国補助金)
-----	---------------------

10 地産地消推進事業

(1) 伊勢市地産地消の店認定制度

平成19年12月に創設した「伊勢市地産地消の店認定制度」に基づき、市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。

平成 22 年 6 月 19 日認定店 16 店舗（内訳：飲食店 15、小売店 1）

※累積：38 店舗（内訳：飲食店 23、宿泊施設 2、小売店 5、直売所 4、量販店 4）

事業費 50,879 円（市単独事業）

（2）学校給食用米確保業務委託

100%市内産米の米飯給食の実施をめざし、学校給食用米（みえのえみ）の市内での生産拡大を進めるため、生産者の取りまとめ及び指導、生産者への栽培に係る追加負担分の経費の支出等を伊勢農業協同組合に委託し、事業を推進した。

委託先 伊勢農業協同組合

委託期間 平成 22 年 7 月 16 日～平成 22 年 10 月 8 日

委託内容 学校給食用米（みえのえみ）の必要数量確保に係る生産者のとりまとめ、栽培指導、生産者への補填金支出等

確保数量 4,204 袋（126.1 t : 30kg/袋）

委託料 1,156,100 円（市単独事業）

11 特色ある農産物づくり支援事業

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。

事業主体 有限会社 お伊勢さん

事業内容 伊勢市の伝統漬け物「伊勢たくわん」の原料である御菌大根の生産に必要な機械及び資材等を導入し、原材料不足により減少している「伊勢たくわん」の生産振興を図った。

事業費 504,181 円

補助額 250,000 円（市単独事業）

12 農業体験学習事業

食育推進の一環として、学校が行う食育に関する取り組みのうち、農業体験学習を進めるにあたっての支援（児童による稲刈り等農作業体験の機会創出）を行い、食の大切さ、食をはぐくむ産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。

実施日	対象	内容	事業費
22. 5. 13	東大淀小 5 年生 (15 人)	水稻（田植え：東大淀町地内）	65,992 円 市単独事業
22. 9. 9	〃 〃	水稻（稲刈り：〃）	
22. 9. 14	大湊小 5 年生 (35 人)	水稻（稲刈り：小俣町新村地内）	

○ 施設管理関係

1 農業用施設維持補修

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕・浚渫工事や草刈等の業務委託、重機借上・原材料支給を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町三津地内	農業用ポンプ施設修繕工事	N=1箇所	円 37,800	22. 4. 8	22. 4. 9
二見町山田原地内	農業用排水路防護柵修繕(その1)工事	L=24.0m	252,000	22. 5.10	22. 6. 4
村松町地内	農業用排水路防護柵修繕(その2)工事	L=23.0m	96,600	22. 5.24	22. 6. 4
神久4丁目地内	農業用排水路修繕工事	L=5.0m	406,350	22.10.15	22.11.12
一之木5丁目地内	農業用排水路修繕(その2)工事	L=52.0m	178,500	22.10.15	22.11.12
村松町地内	農業用排水路修繕(その3)工事	一式	147,000	22.10.15	22.11.12
上野町地内	農業用排水路浚渫(その1)工事	一式	94,500	22.11. 1	22.11. 8
津村町地内	農業用排水路スクリーン設置工事	N=1箇所	31,500	22.11. 8	22.11.16
朝熊町地内	農業用排水路修繕(その5)工事	一式	99,750	23. 1. 7	23. 1.31
御菌町王中島地内	農業用排水路修繕(その7)工事	一式	52,500	23. 1.28	23. 2.10
計	10件	—	1,396,500	—	—

イ 委託関係

施行場所	業 務 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
神社港内 地内	(注) 馬瀬ポンプ場堆積物回収運搬業務委託	排水機巡視 104回 堆積物回収 24回	円 670,950	22. 4. 1	23. 3.31
栗野町地内	菱川除草業務委託	草刈り 一式	62,669	22. 8.26	22. 8.27
計	2件	—	733,619	—	—

(注)維持課へ執行委任

ウ 重機借上・原材料支給

	施 行 場 所	金 額
重機借上	東豊浜町地内 ほか13件	円 1,227,240
原材料支給	神菌町地内 ほか9件	371,369
計	—	1,598,609

2 農地・水・環境保全向上対策事業

農業の持続的発展、農地・農業用水路等の農業用資源の持つ多面的機能の適正な発揮のため、市内 22 の農家・非農家で構成された組織で、これらの資源を地域ぐるみの共同活動で保全向上させる取り組みが行われ、それに対する支援、推進を行った。

実施地区 22 組織(一色、西豊浜森、有滝、村松、東大淀、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町三津、二見町西)

実施面積 1,460 ha

支援金総額 61,500,440 円 (伊勢市負担分 15,375,110 円)

負担割合 国 50% 県 25% 市 25%

3 二見しょうぶロマンの森維持管理

(1) 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設(「民話の駅蘇民」、「しょうぶ園」)について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し、地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
- ・指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・指定管理委託期間 平成 18 年 9 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 47,156,000 円
- ・二見しょうぶロマンの森維持管理運営委託に伴う「民話の駅蘇民」販売収入等 40,986,241 円

・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
22. 4. 1～22. 4. 30	26 日	10,095 人
22. 5. 1～22. 5. 31	27	12,013
22. 6. 1～22. 6. 30	27	14,011
22. 7. 1～22. 7. 31	27	10,214
22. 8. 1～22. 8. 31	25	9,562
22. 9. 1～22. 9. 30	25	8,871
22. 10. 1～22. 10. 31	27	9,006
22. 11. 1～22. 11. 30	26	9,500
22. 12. 1～22. 12. 31	27	11,116
23. 1. 1～23. 1. 31	24	7,799
23. 2. 1～23. 2. 28	24	9,015
23. 3. 1～23. 3. 31	26	9,631
計	311	120,833

(2)小修繕

「しょうぶ園」の施設維持のため修繕を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町 松下地内	しょうぶ園水路修繕工事	L=34m	円 462,000	23. 1. 14	23. 2. 21

4 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

(1)施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・指定管理委託期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日
- ・指定管理委託料 2,092,000円
- ・施設利用状況等

期間	開館日数	来客人数
22. 4. 1～22. 4. 30	25 日	4,086 人
22. 5. 1～22. 5. 31	21	1,088
22. 6. 1～22. 6. 30	22	1,835
22. 7. 1～22. 7. 31	23	994
22. 8. 1～22. 8. 31	23	1,195
22. 9. 1～22. 9. 30	21	942
22. 10. 1～22. 10. 31	24	969
22. 11. 1～22. 11. 30	21	1,746
22. 12. 1～22. 12. 31	24	1,274
23. 1. 1～23. 1. 31	21	839
23. 2. 1～23. 2. 28	19	860
23. 3. 1～23. 3. 31	25	1,054
計	269	16,882

5 サンファームおばた維持管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設であるサンファームおばたの管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

(1)市有建物の貸付

所在地	構造	建物面積	貸付先	貸付料 (年額)	用途	期間
小俣町湯田 55番地	鉄骨造折板葺 平屋建	m ² 429.12	有限会社 サンファーム おばた	円 612,000	農産物販売 (産直市)	自 22. 4. 1 至 23. 3. 31

6 伊勢市二見健康管理増進センター維持管理

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松下区 区長
- ・指定管理委託期間 平成 18 年 9 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日
- ・指定管理委託料 407,000 円
- ・施設利用状況等 年間利用回数 117 回
年間利用人数 1,092 人（延べ人数）

7 樋門の維持管理

流域への湛水、洪水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託し、樋門の機能保持及び安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
東伊阿良	有滝町	有滝町会長	円 20,600
江川	〃	〃	24,700
社護神	〃	〃	16,500
土路西条 4号	西豊浜町	上区自治会区長	16,500
土路西条 5号	磯町	磯町自治会区長	16,500
矢田川	楠部町	楠部町自治会長	20,600
津村	津村町	津村町区長	16,500
宮沼	〃	〃	20,600
名古屋新田	二見町三津	二見町三津区長	20,600
計	9 樋門	—	173,100

(2)市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委託先	管理委託料
満城	磯町	磯町自治会区長	円 20,600
磯	〃	〃	16,500
相合端	〃	〃	16,500
堀の内	西豊浜町	森区自治会区長	16,500
中島	〃	小川区自治会区長	16,500
郷垣外	〃	〃	14,450
中坪井	東豊浜町	〃	16,500
下坪井	〃	東豊浜町西条自治会長	16,500
浜	〃	〃	16,500
西浦	〃	〃	16,500
西条第一	〃	〃	16,500
浦ノ山	〃	土路区町会長	16,500
墓ノ浦	〃	〃	20,600
里浦	〃	〃	16,500
一本松	檜原町	檜原町会自治会長	16,500
枯木州	〃	〃	16,500
地蔵池	村松町	有滝町会長	14,450
南挟間	〃	〃	14,450
西の小端 第一	〃	〃	14,450
イナ川	有滝町	有滝町会長	16,500
西曾	〃	豊浜土地改良区理事長	17,600
亀池	村松町	村松町会長	24,700
旧汐田	東大淀町	東大淀町会長	17,600
明野	〃	〃	15,000

東 勘 坊	柏 町	柏 町 会 長	円 17,600
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会 区 長	20,600
戸 部 神	〃	〃	16,500
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会 長	17,600
小 畑	中 村 町	中 村 土 地 改 良 区 理 事 長	15,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会 長	20,600
西 新 田	〃	〃	16,500
西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会 長	16,500
保 田	〃	〃	16,500
立 岩	〃	〃	14,600
貝 楠 部	〃	〃	16,500
亀 ケ 森	〃	〃	14,600
橋 第 二	〃	〃	14,600
橋	〃	〃	16,500
浜 田	〃	〃	16,500
子 良 江 古	〃	〃	16,500
雨 渕 川	上 野 町	上 野 町 区 長	16,500
西	二 見 町 西	二 見 町 西 区 長	14,450
計	42 樋 門	—	703,050

(3) 樋門小修繕

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
楠 部 町 地 内	中渠樋門塗装工事	樋門修繕 一式	円 98,700	22. 7. 22	22. 8. 11
東 豊 浜 町 地 内	郷外垣樋門修繕工事	フラップゲート修繕 一式	98,700	22. 9. 9	22. 9. 30
小 俣 町 宮 前 地 内	汁谷川フラップゲート 修繕工事	フラップゲート修繕 一式	189,000	22. 11. 12	22. 12. 10

磯地	町内	樋管修繕工事	樋管修繕 一式	円 98,700	23. 1. 31	23. 3. 3
計		4件	—	485,100	—	—

8 陸こう門の管理

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に設置した陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

(1) 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委託先	委託料
東大淀第1・2陸こう門	東大淀町	東大淀町会長	円 11,000
村松第1～8陸こう門	村松町	村松町会長	44,000
有滝第1～6陸こう門	有滝町	有滝町会長	33,000
土路第1～5陸こう門	東豊浜町	土路区町会長	27,500
西条第1～6陸こう門	〃	東豊浜町西条自治会長	33,000
計	5件	—	148,500

9 排水機場維持管理

農業用としてだけでなく、集落地域の雨水排水にも稼働している公共性の高い排水機場について維持管理または電気代等の維持管理費を補助することにより、土地改良区等の負担軽減を図り、農業基盤の保全と農村地域の環境整備を図った。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委託先	委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 補助金

排水機場名	交付先	市補助額
村松排水機場	村松土地改良区	円 775,098
野口排水機場ほか	東大淀土地改良区	112,723
有滝第2排水機場	伊勢北部土地改良区	654,539
社護神排水機場	有滝土地改良区	317,719
豊浜第2排水機場	豊浜土地改良区	22,437
計	5件	1,882,516

○ 畜産関係

1 畜産飼養頭羽数

種 類	肉 用 牛			乳 牛			肉 豚			採 卵 鶏		
	20	21	22	20	21	22	20	21	22	20	21	22
頭羽数 (頭羽)	550	520	522	15	10	7	600	600	592	26,230	26,700	26,400
戸 数 (戸)	8	8	6	1	1	1	1	1	1	5	5	5

2 畜産振興事業

宮崎県で発生した口蹄疫のウイルス侵入防止と農家の負担軽減を図るため、消毒薬を市内の畜産農家に提供した。

消毒薬	提供先畜産農家	提供数量
炭酸ナトリウム	8 軒	3 kg入り 50 袋
消石灰	7	20 kg入り 192 袋

事業費 155,100 円 (全額国庫補助金)

3 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。

事業主体 株式会社 三重県松阪食肉公社

補助金 3,386,000 円

○ 農業基盤整備関係

1 市単土地改良事業

(1) 農道舗装事業

道路幅員等において、国・県の補助事業として採択基準に合致しない農道整備について、舗装工事等を施行し、農道の機能を保持するとともに、交通の安全と円滑な通行の確保に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
神 菌 町 地 内 ほか	(注) 農道舗装 (その 2) 工事	L = 235.5m	円 1,680,000	22.10.22	22.11.30
村 松 町 地 内 ほか	(注) 農道舗装 (その 3) 工事	L = 405.2m	4,092,900	22.11.19	23. 1.17
粟 野 町 地 内	(注) 農道舗装工事	L = 198.9m	1,775,550	22.11.26	23. 1.14

御 菌 町 小 林 地 内	(注) 農道舗装 (その 4) 工事	L = 73.0m	円 609,000	22.12. 3	23. 1.21
檜 原 町 地 内	(注) 農道整備工事	L = 103.4m	2,628,150	22.12. 3	23. 2.10
鹿 海 町 地 内	(注) 農道舗装 (その 5) 工事	L = 218.0m	1,886,850	22.12.10	23. 1.28
有 滝 町 地 内	(注) 農道舗装 (その 7) 工事	L = 366.5m	4,413,150	23. 2.10	23. 3.25
中 須 町 地 内 ほか	(注) 農道舗装 (その 6) 工事	L = 56.8m	483,000	23. 3. 2	23. 3.30
計	8 件	—	17,568,600	—	—

(注)平成 21 年度から繰越

(2) 農業用排水路整備事業

国・県の補助事業として採択基準に合致しない、老朽化による水路の損傷及び生活排水の流入により排水能力が低くなった排水路の整備を行うことにより、排水機能回復と環境整備を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
粟 野 町 地 内	(注) 農業用排水路 (その 1) 工事	L = 24.0m	円 653,100	22. 5.14	22. 7. 2
中 村 町 地 内	(注) 農業用水施設整備 (その 1) 工事	N=1 基	2,313,150	22. 6.28	22. 8.26
柏 地 町 地 内	(注) 農業用排水路 (その 2) 工事	L =117.0m	1,701,000	22. 9.24	22.11. 1
上 地 町 地 内 ほか	(注) 農業用排水路 (その 4) 工事	A =125.0 m ²	1,420,650	22.10.22	22.12.10
二見町今一色 地 内	(注) 農業用排水路 (その 3) 工事	L = 70.1m	2,158,800	22.10.29	22.12.17
御 菌 町 新 開 地 内	(注) 農業用排水路 (その 5) 工事	L = 35.9m	963,900	22.11.19	23. 1.17
小 俣 町 新 村 地 内	(注) 農業用排水路 (その 6) 工事	L =119.0m	1,119,300	22.11.29	23. 1.28
中 村 町 地 内	(注) 農業用排水路 (その 7) 工事	L =420.0m	976,500	22.11.29	23. 1.28
粟 野 町 地 内	(注) 農業用排水路 (その 8) 工事	L = 30.0m	1,050,000	23. 2. 4	23. 3.14
計	9 件	—	12,356,400	—	—

(注)平成 21 年度から繰越

(3) 給水栓整備事業

当該地区の農業用用水施設は水資源が十分に確保できず営農活動に支障をきたしている。このため給水栓整備を行い、農家の水資源有効活用と労働生産性の向上を行い農業経営の安定を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西 豊 浜 町 地 内	給水栓設置工事	給水栓設置 50箇所	円 3,083,850	22.12.3	23.3.15

2 土地改良事業補助

農業経営の安定に資するため、土地改良事業を補助し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を図った。

(1) 県営事業負担金

事 業 名	工事概要	事 業 費	市 負 担
平成 21 年度 県営かんがい排水事業 宮川 2 工区	幹線用水路 L=400m	円 73,500,000	(注 1) 1,289,925
平成 21 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	幹線用水路 L=700m 支線用水路 一式	262,500,000	(注 1) 34,095,000
平成 21 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	幹線用水路 L=2,600m	561,750,000	(注 1) 84,210,000
平成 21 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	幹線用水路 L=847m 支線用水路 L=10,280m	554,400,000	(注 1) 4,475,113
平成 21 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	測量設計 一式 支線用水路 L=3,500m	132,300,000	(注 1) 5,386,500
平成 21 年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋脚工 1 基	174,730,000	(注 1) 61,415,000
平成 22 年度 県営ため池等整備事業 戸部神地区	吐水槽工 一式	73,000,000	(注 2) 14,600,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 2 工区	支線用水路 一式	140,000,000	(注 2) 2,457,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区	幹線用水路 L=680m	540,000,000	(注 2) 81,000,000
平成 22 年度 県営かんがい排水事業 宮川 4 工区その 2	幹線用水路 L=600m	428,000,000	(注 2) 64,160,196

平成 22 年度 経営体育成基盤整備事業 有田地区	支線用水路 L = 1,590m	円 312,600,000	(注 2) 1,654,522
平成 22 年度 経営体育成基盤整備事業 小俣地区	幹線用水路 L = 600m 支線用水路 L = 1,000m	194,400,000	(注 2) 23,010,000
平成 22 年度 県営ふるさと農道整備事業 松下地区	橋台工 1 基	150,000,000	(注 2) 52,500,000
計	13 件	3,597,180,000	430,253,256

(注 1) 平成 21 年度から一部繰越

(注 2) 平成 22 年度へ一部繰越

(2) 補助金

(市補助額欄の(注)印は、償還金に対する補助金額)

補助金支出先	施行 年度	事 業 名	事 業 概 要	市補助額
宮 川 用 水 土 地 改 良 区	昭和 62~ 平成 3	県営施設整備事業市町 村負担金	用水路工事	円 (注) 3,157,000
〃	平成 22	県単土地基盤整備事業 (明野地区)幹線用水路 補修工事補助金	用水路工事	1,680,000
伊 勢 北 部 土 地 改 良 区	6~ 15	県営ほ場整備事業 (伊 勢北部地区)	区画整理工事	(注) 12,820,782
〃	5	〃	〃	(注) 685,141
豊 土 地 改 良 区 土 地 改 良 区	5~ 11	団体営土地改良総合整 備事業 (豊浜・森・小 川地区)	用水施設整備他	(注) 24,637,159
〃	13~ 15	基盤整備促進事業 (大 方後地区)	用水路工事他	(注) 886,730
朝 熊 土 地 改 良 区 土 地 改 良 区	4	団体営土地改良総合整 備事業 (小規模排水)名 古砂地区	用排水施設整備 他	(注) 2,828,970
五十鈴川用 土 地 改 良 区	22	県営かんがい排水事業 (鹿海、一色地区)	木出頭首工維持 管理事業	337,207
宮川左岸第 二 土 地 改 良 区	22	農業用用水路補修事業 補助金	用水路補修工事	17,000
〃	22	土地改良施設維持管理 適正化事業	用水管修繕工事	80,000

村 松 土 地 改 良 区	22	県単土地基盤整備事業 (小規模土地改良事業)	排水路工事	円 526,000
小 侯 町 土 地 改 良 区	22	農業用用水施設整備工 事	用水路修繕工事	442,260
〃	22	県営経営体育成基盤整 備事業関連工事	用水路修繕工事	283,500
円 座 町 農 家 組 合	22	転倒ゲートユニット修 繕事業	油圧ユニット修 繕工事	213,000
計	14 件	—	—	48,594,749

3 農村振興整備事業

近年の農業のおかれている状況は、農家数及び農地の減少、農産物の輸入自由化による価格の低迷と生産意欲の減退、労働力の高齢化と後継者の不在等と大変厳しいものである。こうした状況に応じて、農業生産基盤整備、農村環境基盤整備を進めることで、優良農地の適正な管理、営農環境の保全及び生活環境の改善に努め、地域の活性化を図った。

(1) 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業

農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、基盤整備を実施することで離農者及び離農村者を抑制し、地域住民の定住化を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東 豊 浜 町 地 内	(注) 農排 3-15 号工事	L = 132.7m	円 26,800,200	22. 11. 5	23. 6. 30
西 豊 浜 町 地 内	集道 3-1 号工事	L = 303.5m	25,192,650	22. 11. 19	23. 3. 28
〃	集道 3-2 号工事	L = 82.0m	6,873,300	22. 11. 19	23. 3. 15
二 見 町 松 下 地 内	農排 3-9 号工事	L = 216.0m	11,122,650	22. 11. 19	23. 3. 15
御 菌 町 新 開 地 内	農排 3-3 号工事	L = 226.0m	5,339,250	22. 11. 26	23. 2. 21
御 菌 町 王 中 島 地 内	農排 3-12 号工事	L = 265.0m	9,894,150	22. 12. 3	23. 3. 15
磯 地 町 地 内	農排 3-14 号工事	L = 154.9m	6,602,400	22. 12. 10	23. 3. 15
計	7 件	—	91,824,600	—	—

(注)平成 23 年度へ一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
磯地町内	農排3-14号工事に伴う不動産鑑定評価業務	不動産鑑定評価一式	円 76,650	22. 8. 12	22. 9. 10
東豊浜町内	農排3-15号工事に伴う家屋調査業務委託	家屋調査一式	609,000	22. 8. 16	22. 9. 30
柏地町内	農排3-6号工事に伴う測量設計業務委託	L=500.0m	2,131,500	22. 11. 5	23. 2. 2
小俣町明野地	農排3-5号工事に伴う測量設計業務委託	L=360.0m	1,785,000	22. 11. 19	23. 2. 16
計	4件	—	4,602,150	—	—

ウ 用地買収関係

場所	地権者数	筆数	面積	金額
磯地町内	人 3	筆 5	m ² 227.35	円 2,046,150
西豊浜町内	2	4	139.77	1,416,848
計	5	9	367.12	3,462,998

4 技術援助事業

土地改良区が実施する修繕工事等について、設計・監督等の技術援助を行い、土地改良区の負担軽減を図った。

事業主体	工事名
小俣町土地改良区	農業用用水施設整備工事
村松土地改良区	農業用排水路整備工事
計	2件

5 桧尻排水機場樋管解体

国土交通省による勢田川護岸工事实施に伴い、占用物件である桧尻排水機場樋管を撤去する必要が生じたことから、それにかかる経費を負担する。

事業名	工事概要	事業費	市負担
勢田川船江護岸工事	吐水管撤去工 1基	円 24,956,400	(注) 円 24,956,400

(注)平成23年度へ一部繰越

6 土地改良施設整備事業

大堀川改修に伴い東大淀排水機場の排水機能の低下が生じることから、ポンプを増設し排水能力の回復を図るため、増設に必要なポンプ詳細設計及び設備工事を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東大淀町 地 内	(注) 東大淀排水機場機械設備工事	機械設備工事 一式	円 23,909,550	22. 9.24	23. 3.15
〃	(注) 東大淀排水機場電気設備工事	電気設備工事 一式	12,530,700	22. 9.24	23. 3.15
計	2 件	—	36,440,250	—	—

(注)平成 21 年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
東大淀町 地 内	(注) 東大淀排水機場増設工事に伴 う詳細設計業務委託	ポンプ詳細設計 一式	円 4,848,900	22. 5.21	22. 8. 6

(注)平成 21 年度から繰越

○ 林業関係

1 林道修繕事業

雨水等により道路法面が崩れ、通行に支障をきたしているため、必要な工事を施し、林道の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地 内	朝熊林道舗装工事	A=70.0 m ²	円 651,000	23. 2. 3	23. 3.15
横輪町 地 内	ホラ林道修繕工事	L=69.0m	810,600	23. 2.10	23. 3.22
計	2 件	—	1,461,600	—	—

2 環境保全林管理事業

市民の憩いの場である三郷山、音無山生活環境保全林及び横輪環境保全林において、清掃、草刈、修繕工事等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
朝熊町 地 内	絆の森作業小屋入口鍵 修繕工事	入口鍵修繕 N=1 箇所	円 10,500	22. 4. 6	22. 4.15
二見町茶屋 地 内	音無山照明灯修繕工事	照明灯修繕 N=1 箇所	15,750	22. 4. 7	22. 4.15

二見町茶屋地内	(注) 音無山遊歩道修繕工事	遊歩道修繕 L=56.0m	円 472,500	22. 6. 21	22. 7. 30
〃	音無山照明灯修繕 (その2) 工事	照明灯修繕 N=9 箇所	504,000	22. 9. 28	22. 11. 30
〃	音無山小便器修繕工事	小便器修繕 N=1 箇所	4,756	23. 1. 4	23. 1. 8
〃	音無山照明盤及びトイレ 照明修繕工事	修繕一式	97,650	23. 2. 21	23. 3. 15
計	6 件	—	1,105,156	—	—

(注)平成 21 年度から繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内 地内	三郷山清掃業務委託	清掃 年 16 回	円 300,000	22. 4. 1	23. 3. 31
二見町茶屋地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務 一式	576,071	22. 4. 1	23. 3. 31
横輪町内 地内	宮山管理業務委託	管理業務 一式	300,000	22. 5. 7	23. 3. 31
浦口町内 地内	三郷山草刈等 (その1) 業務委託	草刈りほか 24,700 m ²	780,000	22. 5. 18	22. 7. 16
〃	三郷山危険木伐倒業務委託	危険木伐倒 N=2 箇所	99,750	22. 6. 16	22. 7. 12
横輪町内 地内	横輪環境保全林管理業務委託	管理業務 15,420 m ²	895,000	22. 6. 18	23. 3. 18
浦口町内 地内	三郷山給水施設衛生管理 業務委託	給水施設 清掃・点検一式	29,872	22. 7. 21	22. 8. 31
〃	三郷山草刈等 (その2) 業務委託	草刈り 24,700 m ²	517,650	22. 9. 6	22. 12. 1
二見町江地内ほか	音無山支障木伐倒業務委託	支障木伐倒 N=1 箇所	31,500	22. 11. 10	22. 11. 19
計	9 件	—	3,529,843	—	—

3 環境保全林整備事業

環境保全林の持つ維持向上を図るため、三郷山生活環境保全林において、年次計画により間伐整備を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
浦口町内 地内	三郷山間伐業務委託	間伐 A=2.5ha	円 952,350	22. 12. 22	23. 3. 18

4 森林環境創造事業

音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行うものであり、平成14年度からいせしま森林組合に委託しているもので、本年度は4.24ha実施した。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町江 地内ほか	音無山施設管理業務委託	下刈り 歩道草刈り A=4.24ha	円 777,000	22.10.15	22.12.20

5 森林病虫害防除事業

海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町今一色 地内	二見松林整備工事	松林整備 A=400 m ²	円 260,400	22.4.23	22.5.11
〃	二見松林整備(その2)工事	松林整備 A=400 m ²	525,000	23.1.28	23.2.10
計	2件	—	785,400	—	—

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町今一色 地内	松くい虫防除(伐倒破砕 その1)業務委託	枯松伐倒駆除	円 99,750	22.5.10	22.5.31
二見町西 地内ほか	松くい虫防除(地上散布) 業務委託	薬剤散布 A=17.2ha	1,228,500	22.5.26	22.7.30
村松町 地内ほか	村松松林ほか下刈業務委託	下刈り A=10,000 m ²	160,000	22.8.12	22.9.8
二見町西 地内ほか	二見保安林下刈業務委託	下刈り A=3.07ha	974,400	22.8.25	22.10.15
二見町荘 地内ほか	松くい虫防除(樹幹注入) 業務委託	薬剤樹幹注入	2,541,000	22.12.8	23.3.18
二見町西 地内ほか	松くい虫防除(伐倒破砕 その2)業務委託	枯松伐倒駆除	745,500	23.1.26	23.3.18
有滝町 地内ほか	危険木伐倒業務委託	危険木伐倒5本	80,850	23.2.22	23.3.14
計	7件	—	5,830,000	—	—

6 獣害防止事業

(1) 有害鳥獣駆除

農林作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行い、被害の減少に努めた。

件数	延べ人員	捕獲数	
61件	540人	イノシシ	330頭(羽)
		シカ	163
		サル	27
		ゴイサギ	6
		ドバト	2

(2) 獣害防止事業委託

伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林産物及び人的被害軽減に努めた。

内容 有害獣の捕獲に対し予算の範囲内で助成。

(猪・鹿：3,000円/1頭 猿：10,000円/1頭)

平成22年度捕獲実績(頭)	
イノシシ	280
シカ	113
サル	19

事業費 1,369,000円 (市単独事業)

(3) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、平成20年11月に設立された伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。

事業内容	金額(円)	備考
電気柵整備	980,860	佐八町、上野町、神菌町 (45%地元負担)
捕獲檻導入	126,735	猿用：2台
有害鳥獣駆除委託	380,000	委託先：伊勢地区猟友会
サル位置情報システム利用料	26,985	
狩猟免許取得推進	96,000	初心者講習受講手数料
追払い用威嚇機材購入	50,780	花火等
有害捕獲作業掲示物	73,800	
その他協議会運営費	5,700	会議開催経費等
計	1,740,860	

事業費 1,740,860円 (国 1,299,473円 地元負担 441,387円)

7 鳥獣保護等事業

(1) 鳥獣飼養許可

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、メジロ等の飼養許可事務を実施した。

交付件数 5件 (メジロ：更新 5件)

手数料収入 17,000円 (手数料 1件 3,400円)

○ 水産振興関係

1 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。

伊勢市の海面漁業形態は、主にアサリ採貝漁業、のり養殖業、小型機船底曳網漁業とし、その他には刺網漁業等が営まれている。

組合員数は下記のとおりで、生産状況は貝類（アサリ等）が284t、魚類等が194t、くろのりは3,762万枚となっている。

(1) 組合員数

(単位：人)

区分	漁協名		平成22年度			平成21年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	38	106	144	38	118	156
		村松	43	87	130	45	98	143
		有滝	39	104	143	45	102	147
		東豊浜	33	235	268	33	242	275
		大湊	11	17	28	11	21	32
		一色	4	51	55	8	48	56
		神社	0	16	16	4	12	16
		今一色	61	20	81	69	16	85
		江	21	35	56	22	36	58
		松下	14	50	64	18	48	66
	合計	264	721	985	293	741	1,034	
内水面	宮川漁協		980	1,289	2,269	1,089	1,278	2,367
	内伊勢市管内		270	231	501	315	226	541

(注) 宮川漁協は各年度12月31日現在

(各年度4月1日現在)

(2) 漁業生産状況

(単位：kg(くろのりは千枚))

種類	平成22年度	平成21年度
魚類	132,291	166,961
水産動物類	61,768	102,682
アサリ	271,035	144,179
その他の貝類	12,778	86,421
くろのり	37,618	33,493
あおのり	1,085	1,651

(3) 漁船数

(単位：隻)

地区名	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	合計
東大淀	61	6	1	0	68
村松	44	6	11	0	61
有滝	67	3	14	0	84
東豊浜	78	7	7	0	92
大湊	20	0	0	0	20
一色	15	0	1	0	16
神社	1	0	0	0	1
今一色	185	6	0	1	192
江	39	0	0	0	39
松下	30	0	0	0	30
合計	540	28	34	1	603

(平成 23 年 3 月 31 日現在登録分)

(4) 漁業就業者の年齢構成

(単位：人)

区分	男	女	計
20 歳未満	1	0	1
20～30 未満	1	0	1
30～40 未満	5	1	6
40～50 未満	23	16	39
50～60 未満	35	27	62
60～70 未満	81	88	169
70 歳以上	140	65	205
計	286	197	483
平均年齢 (歳)	66.3	65.0	65.7

(平成 22 年 3 月末現在)

2 水産振興事業

(1) 水産教室実施事業

水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立北浜小学校 5 年生 (33 名) に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への興味の高揚を図った。

実施場所	内 容	事業費	開催日
村 松 町 二見町今一色 地 先 内	○講習：「伊勢市の漁業の概要」「のり養殖業」 ○体験実習：「のり摘み・のりすき体験」 ○施設見学：「のり加工施設・のり検査倉庫見学」	円 132,784	23. 2. 4

(2)魚礁効果調査事業

昭和54年から平成10年までの間に伊勢市地先に設置した魚礁について、設置状況と魚類等の集状況を調査し、適切な施設の維持管理及び設置効果を検証し、操業の効率性・安全性の向上を図った。

実施場所	内 容	調査箇所数	事業費	実施期間
東 大 淀 町 地 先 ほ か	魚礁の設置状況（位置・水深・現況など）、魚礁への魚類・水産動物類等の集状況、魚礁表面への海藻類等の付着状況 など	7箇所	円 743,100	22. 8～23. 1

(3)干潟保全活動支援事業

水生生物の産卵場、幼稚魚の保育場など水産資源の保護・培養のほか、水質浄化などの役割をもつ干潟は、近年、海洋環境の悪化などにより機能が低下しているため、地区漁業者が中心となる活動組織が干潟保全活動を行い、干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。

実施主体	実施場所	内 容	負担金	実施期間
今 一 色 干潟保全会	二見町 今一色 地先干潟	計画づくり、モニタリング、保全活動（耕うん、保護区域の設定、稚貝等の沈着促進、浮遊・堆積物の除去など）	円 575,000	22. 4～23. 3

(4)各種補助金事業

事業名	事業主体	事業量	事業費	市補助金	成 果
アサリ養殖 振興事業	伊勢湾漁業 協同組合	二見町今一色地先 ほかにアサリ種苗 を放流 放流量 13 t	円 3,545,267	円 1,063,000	アサリ資源の増大と漁家経営の安定、アサリの浄化作用による環境保全を図った。
種苗（クルマエビ等）育成 事業	〃	クルマエビ 100万尾 ヨシエビ 50万尾 クロダイ 6千尾 ヒラメ 13千尾 各種苗を松阪市東 黒部町地先～伊勢 市二見町松下地先 に放流	2,500,000	144,000	クルマエビ・ヨシエビ（中間育成後）、クロダイ、ヒラメの種苗を放流し、資源の増大と漁家経営の安定を図った。

稚鮎等放流事業	宮川漁業協同組合	アユ 3,500 kg ウナギ 70 kg 各種苗を宮川流域に放流	円 9,988,125	円 600,000	宮川流域のアユ・ウナギの資源の増大と生産の向上を図った。
村松漁港荷捌所修繕事業	伊勢湾漁業協同組合	荷捌所の鳥類侵入防止ネットの修繕面積 A=580 m ²	385,000	77,000	鳥類侵入防止ネットを修繕したことで、水産物の糞、羽根などによる被害を解消し、衛生的な環境の確立を図った。
計	4件	—	16,418,392	1,884,000	—

(5) 栽培漁業の指導・推進

伊勢湾漁業協同組合が取組むクルマエビ、ヨシエビ、クロダイ、ヒラメの種苗放流について、放流適地・放流方法について指導した。

なお、平成17年度に完成した伊勢湾南部中間育成施設（県営）でのクルマエビ、ヨシエビの中間育成が実施され、放流サイズが大きくなり、生残率も向上した。

(6) 担い手対策

水産業の担い手対策の重要性から水産教室を開催し、水産業の魅力を小学生に啓発した。

さらに、水産物の安定供給をはじめ、漁業の持つ多面的機能を永続的に十分発揮させるため、平成18年度に「漁業の担い手等を考える会」が伊勢湾漁業協同組合主体で発足し、これからの漁業の担い手確保のための方策を模索している。

(7) アサリ勉強会

伊勢市の漁業の中心であるアサリ採貝漁業は、昭和60年頃をピークに経営体数、漁獲量とともに、減少の一途をたどっている状況にあり、漁協・漁業者と協働で、平成21年2月に発足した「アサリ勉強会」を通じて、資源確保や生産力向上のため、問題・課題の把握からその解決策の検討・実施に向けて取り組んでいる。

○ 漁港管理関係

1 漁港の施設

漁港名	種別	外郭施設		係留施設	
		21年度末 現在	22年度末 現在	21年度末 現在	22年度末 現在
村松	第1種	m 1,403	m 1,403	m 404	m 486
江	〃	1,564	1,564	261	261
松下	〃	502	502	101	101

豊北	第2種	5,939	5,867	1,784	1,825
(注) 大淀(東大淀)	〃	1,841	0	424	0
計	—	11,249	9,336	2,974	2,673

(注)大淀漁港は、漁港管理者が三重県に変更となったため。

2 漁港・海岸維持管理事業

伊勢市が管理する漁港の安全対策や標識灯の点検業務委託を行い、施設の機能維持を図った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町 江地先	二見地区小規模増殖場 標識灯修繕工事	標識灯設置工 N=1 基 灯部交換工 N=7 箇所	円 770,700	22.10.6	22.11.5
村松町 地内	村松漁港陸閘修繕工事	陸閘修繕 N=1 基	53,550	22.10.15	22.10.19
東豊浜町 地内	豊北漁港内道路防護柵 設置工事	防護柵設置工 L=11m 防護柵部材交換工 L=13m	241,500	22.11.1	22.11.30
村松町 地内	村松漁港陸閘修繕 (その2) 工事	陸閘修繕 N=1 基	59,850	22.11.26	22.12.3
二見町 江地内	江漁港照明灯修繕工事	照明灯修繕 N=1 基	5,250	22.12.13	22.12.17
東豊浜町 地内	豊北漁港陸閘修繕工事	舗装工 A= 5.0 m ²	67,200	23.1.4	23.1.7
村松町 地内ほか	陸閘管理番号設置工事	陸閘箇所 N=15 箇所	99,750	23.3.1	23.3.7
有滝町 地内	豊北漁港浮棧橋修繕工 事	敷きゴム N= 3 箇所	99,750	23.3.1	23.3.11
〃	(注) 豊北漁港係船環交換工 事	係船環設置工 N=10 箇所 係船環撤去工 N=10 箇所	598,500	23.3.28	23.4.6
計	9 件	—	1,996,050	—	—

(注)平成23年度～繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町 地先	豊北漁港標識灯 保守点検業務委託	標識灯点検 N=3 基	円 68,250	22.9.13	22.9.24
村松町 地内	村松漁港陸閘操作 点検業務委託	陸閘操作点検 N=1 基	63,000	22.10.8	22.10.15
計	2 件	—	131,250	—	—

ウ 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	東豊浜町地内	円 316,365

○ 漁港建設関係

1 豊北漁港整備事業

航路に土砂が堆積し、船舶の航行に支障をきたしているため、航路浚渫を行い、船舶の安全な航行を図った。

また、漁具の修理保管用地を確保するため、用地護岸の整備を行った。

ア 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
東豊浜町地先	(注1) 豊北漁港浚渫工事	-3.0m航路浚渫 A= 7,506 m ² V=23,730 m ³ -1.5m航路浚渫 A= 5,868 m ² V=17,080 m ³	円 122,815,350	22. 2.26	22. 8. 9
有滝町地先	豊北漁港泊地浚渫工事	-2.0m泊地浚渫 V= 473 m ³	1,050,000	22. 8. 5	22. 8.23
有滝町内	豊北漁港用地護岸整備工事	施工延長 L=92.7m 本体工 L=92.7m 上部工 L=92.7m コンクリート舗装工 A=244.7 m ²	66,733,800	22. 9.10	23. 3. 7
東豊浜町地先	(注2) 豊北漁港航路浚渫工事	-1.5m航路浚渫 A= 3,330 m ² V=10,080 m ³ -1.5m船揚場浚渫 A= 1,020 m ² V= 1,366 m ³	40,043,850	23. 3.11	23. 8.19
計	4件	—	230,643,000	—	—

(注1)平成21年度から一部繰越

(注2)平成23年度へ一部繰越

イ 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
東豊浜町地先	豊北漁港 西防波堤消波ブロック設置検討業務委託	設置検討業務 一式	円 997,500	22. 7.28	22. 9.15

2 大淀漁港物揚場修繕事業

老朽化した物揚場を整備し、漁業者が安全・安心した作業を行えるように、修繕を行った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
東大淀町 地内	大淀漁港 物揚場修繕工事	施工延長 L=30.8m 上部工 L=30.8m エプロン舗装工 A=70.9 m ² アスファルト舗装工 A=42.4 m ² 車止工 L=18.0m	円 2,098,950	22. 9. 3	22. 11. 1

○ 緊急雇用対策関係

1 森林病虫害防除事業

海岸の防風林では伐倒くん蒸処理された被害木が林内に積まれたまま放置された状態であるため、植林や下刈等の管理に支障をきたしている。このため、放置された処理木の集積・処分を行い景観の向上及び松林の機能維持保全を図った。

イ 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町西 地内	二見保安林伐倒搬出業務委託 (緊急雇用創出事業)	伐倒 V=35.2 m ³ 搬出 V=153.6 m ³	円 2,499,000	22. 6. 30	22. 10. 29

○ 災害復旧関係

1 農地・農業用施設災害復旧事業

平成22年10月9日に発生した豪雨により被災した箇所の復旧を行い、施設の機能回復を図った。

ア 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
上野町 地内	農業用排水路修繕(その4)工事	張ブロック復旧	円 99,750	22. 11. 1	22. 11. 8
横地 輪町内	農道修繕(その1)工事	農道修繕	99,750	23. 1. 19	23. 1. 28
佐八町 地内	農業用排水路修繕(その6)工事	排水路修繕	99,750	23. 1. 20	23. 2. 10
計	3件	—	299,250	—	—

イ 重機借上関係

	施 行 場 所	工事概要	金 額
重機借上	上野町地内ほか7件	土砂撤去	円 2,111,287

2 漁港等災害復旧事業

(1)平成22年10月9日に発生した豪雨により、豊北漁港内にゴミが漂着し、漁船の航行に支障となっていたため、これらの撤去を行い、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 重機借上関係

	施行場所	金額
重機借上	豊北漁港 東豊浜町地内	円 419,055

(2)平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による津波の影響で、周辺海域に漂流していた海苔網やロープなどを撤去し、船舶の航路回復と安全航行の確保を図った。

ア 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町今一色 地先ほか	伊勢地区 海苔網撤去業務委託	海苔網撤去工 海上作業 7日 陸上作業 7日	円 6,699,000	23. 3.18	23. 3.31

○ 他課関係依頼工事

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

ア 工事関係

所属	施行場所	工事名	工事概要	金額
観光事業課	中島2丁目 地内ほか	第58回全国花火大会施設工事	放揚施設工事 一式 会場周辺安全施設工事 一式 場内施設工事 一式 栈敷工事 一式 雑工事 一式 施設撤去、原形復旧一式	円 11,291,700
〃	〃	第58回全国花火大会電気設備工事	電話・電灯設備 一式 仮設工事 一式 施設撤去 一式	2,166,150
消防課	宇治浦田 3丁目地内 ほか	防火水利蓋改修 (その1)工事	縞鋼板蓋取手取付工 1箇所 マンホール蓋交換工 4箇所	(注) 1,200,150
〃	旭町 地内ほか	防火水利蓋改修 (その2)工事	マンホール蓋交換工 3箇所 防火井戸閉塞工 1箇所	(注) 890,400
〃	辻久留 1丁目地内 ほか	消防水利標識設置工事	標識設置工 11箇所	(注) 913,500
〃	朝熊町 地内	防火井戸閉塞工事	防火井戸閉塞工 1箇所 舗装工 7.3㎡	(注) 199,500

こども課	御菌町長屋 地内	御菌第一保育園浄化槽 改修工事	浄化槽改修工 2箇所	円 1,417,500
〃	御菌町高向 地内	御菌第二保育園浄化槽 改修工事	浄化槽改修工 1箇所 浄化槽撤去工 1箇所	703,500
計	8件	—	—	18,782,400

(注)平成 21 年度から繰越

観 光 企 画 課

平成 22 年度は、例年にも増して観光を取り巻く世情がめまぐるしく動きました。中でも交通面では、平成 22 年 6 月 28 日より伊勢自動車道の無料化社会実験がはじまり、7 月 16 日には三重（伊勢・鳥羽）から福岡までの直通夜行高速バスの運行開始、平成 23 年 3 月 12 日からは J R 快速みえ 1 往復増発ならびに全定期列車の 4 両編成運行等が実施されました。また、国際面では 7 月に中国のビザ緩和の一方、9 月の尖閣諸島諸問題による、訪日旅行者への影響も懸念されております。そして、平成 23 年 3 月 11 日に東日本を襲った大震災による、全国的な旅行控えの影響もあり、旅行界を取り巻く状況は非常に厳しいものとなっています。

平成 25 年の遷御に向けた第 62 回神宮式年遷宮諸祭行事においては、平成 22 年度は、外宮・内宮それぞれの火除橋の架け替え、また内宮域内に鎮座する風日祈宮へと誘う風日祈宮橋が平成 22 年 9 月 17 日に架け替えられたことも寄与し、伊勢、伊勢志摩地域が多くのテレビ、媒体誌等で露出されました。

伊勢市の入込み客数は、伊勢神宮参拝者数が平成 22 年（1～12 月）は約 882 万人で、記録が残る明治 29 年以降、最も多い参拝者数を記録しました。また、内宮参拝者数も約 652 万人で過去最高の数値となりました。しかし、各施設利用者数は減少し、有料施設への入込み客減少という課題が浮き彫りになりました。また、平成 23 年 1～3 月は年末年始の曜日の並びの関係、週末毎の雪等天候不順、東日本大震災の余波の関係からも、対前年同期比 87.5%（外宮・内宮計、外宮のみでは 98.1%）と厳しい状況で推移しています。

○ 観光施設管理運営事業

1 平家の里施設管理事業

辺地対策として、昭和 57 年度から 63 年度にかけて新産業構造改善事業（自然活用型）により建設された本施設について、指定管理者期間満了（平成 21 年 3 月 31 日）に伴う公募を行いました。応募が無く、次期指定管理者が決まらなかったため、平成 21 年 4 月 1 日より運営を休止していました。

施設の利活用について、地元と協議を重ねた結果、農林漁業体験実習館については、集会施設として有効活用を図るため、新条例を制定しました。また、平家の里キャンプ村（市所有分のロッジ 5 棟、管理棟等）、休憩所、水車小屋、野外緑地広場、製炭がまは解体、譲渡等の処分を行うことになりました。

○ もてなし心醸成事業

1 伊勢活性化プロジェクト事業

伊勢を訪れる人々に満足していただくためには、どのように伊勢の観光まちづくりを展開していけばよいかについて、市民、事業者、団体、行政がみんなで考え、そして実行につなげようと、平成19年9月に「伊勢観光活性化プロジェクト会議」を設置し活動しています。平成22年度も引き続き「人」「食」「環境」の3つのテーマ・部会による取り組みを行いました。

■主な取り組み

<人部会>会議回数7回

- ・ 伊勢市駅前での子ども案内体験イベント「一日伊勢っ子案内人」実施（10/31）
- ・ (社)伊勢市観光協会発行の案内ガイド紹介リーフレット「伊勢たびナビ」作成にかかる、市内案内ガイド団体への呼びかけと打ち合わせの進行・調整（観光事業課と連携）

<食部会>会議回数8回

- ・ 「御饌井（みけどん）の会」のサポート（ブース出店の販売スタッフ等）
- ・ 駅から歩いて買いに行けるお土産（おやつ）のマップづくりの検討

<環境部会>会議回数10回

- ・ 自転車による観光をテーマにした座会開催
- ・ モデルツアーの実施
- ・ 近鉄主催「サイクルトレイン」の受入協力準備

2 外宮前名物「御饌井」事業

平成21年度に「外宮さんにちなんだどんぶりを創ろう実行委員会」の企画により誕生した外宮前名物「御饌井」について、参加店舗が中心となり、平成22年5月18日に「御饌井の会」を結成しました。高柳の夜店、ゆかたで千人お参り、伊勢まつり、神嘗奉祝祭、外宮参道屋台市、おばた参宮市、お伊勢さん健康マラソン大会へ出店し、「御饌井」の地元PRを行いました。また、市内の他の食の取り組みと連携を取りPRにつなげるため、統一性を持たせた「御饌井」「地産地消の店」「貝めし」紹介リーフレットを作成しました。そして、平成22年度は新たに、新作レシピ開発に着手し、「鯛の伊勢茶井」を開発し、リーフレットの作成等普及活動を行いました。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 観光情報発信事業

(1) ホームページを活用した情報発信

インターネットを活用して、(社)伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行いました。【平成14年3月開設】

年度	アクセス数（件） （携帯電話含む）	稼働日数（日）	一日平均（件）
13	999	7	142.7
14	77,936	365	213.5
15	106,076	365	290.6
16	132,977	365	364.3
17	214,240	359	596.8
18	350,359	365	959.9
19	436,068	366	1,191.4
20	444,759	365	1,218.5
21	494,421	335	1,475.9
22	673,220	365	1,844.4
合計	2,931,055	3,257	899.92

※システム移行により平成21年9月のアクセス数は算出不能

このため、平成21年度の数值は11箇月分の合計値となっています

（2）観光パンフレットの利活用

伊勢にお越しいただく方により一層お楽しみいただき、滞在時間延長、観光消費額増大を目的とした観光パンフレット（ええじゃないかお伊勢さん）、また観光展やPRイベントにおける伊勢の概要を紹介した観光パンフレット（神の庭、ええじゃないかお伊勢さん概要版、二見浦等）、町歩き等をお楽しみいただくマップ〔伊勢市内マップ、ポケナビ（新規作成）、グルメマップ（新規作成）、伊勢うどんマップ〕など目的別観光パンフレットを作成・増刷し配布しました。配布にあたっては、観光展等での配布のほか、観光案内所での配布、各種集大会による来訪者への配布、媒体等を通じたパンフレット送付依頼の対応、旅行会社での配布等を行いました。

年度	パンフレット郵送件数
18	522
19	527
20	1,081
21	1,426
22	1,261

（3）雑誌宣伝広告等による誘致活動

新聞や雑誌等の有料広告を活用した情報発信を行うものです。伊勢志摩観光コンベンション機構、三重県、周辺市町、伊勢志摩キャンペーン等において実施する広告と地域が重複しないよう、棲み分けを行いました。一般的には広告の費用対効果が図り難いことから、広告読者等へのパンフレット送付依頼への誘導と問合せ件数等を一指標とし、効果が高い媒体への掲載を行いました。有料広告（別表）のみならず、あらゆる媒体への無料情報掲載も実施しました。

	媒体名	掲載日	備考
1	月刊九州王国	4. 15	九州
2	non rouge	4. 25	北海道
3	poroco	5. 20	北海道
4	旅行新聞	6. 1	全国
5	ほっとバル	6. 3	長野(北信)
6	a. un (特別号)	6. 16	静岡
7	a. un (夏合併号)	6. 25	静岡
8	E L F	6. 18	福岡
9	poroco	6. 20	北海道
10	wink	6. 23	広島
11	T-wang	6. 25	三河
12	non rouge	6. 25	北海道
13	tomato	7. 1	広島
14	週刊いいだ	7. 8	長野(南信)
15	奈良新聞	7. 9	奈良
16	オントナ	7. 14	北海道
17	Do!sul	7. 15	長野(北信)
18	週刊まつもと	7. 23	長野(中信)
19	週刊いな	8. 5	長野(南信)
20	ほっとバル	8. 5	長野(北信)
21	E L F	8. 20	福岡
22	プースカフェ	8. 28	長野(北信)
23	月刊九州王国	9. 15	九州
24	non rouge	9. 25	北海道
25	オントナ	10. 6	北海道
26	週刊いな	10. 7	長野(南信)
27	週刊まつもと	10. 8	長野(中信)

	媒体名	掲載日	備考
28	市民タイムス	10. 15	長野(中信)
29	E L F	10. 20	福岡
30	poroco	10. 20	北海道
31	旅行新聞	10. 21	全国
32	Do!sul	10. 21	長野(北信)
33	東愛知新聞	10. 29	愛知
34	a. un	10. 30	静岡
35	ふるさと通信美し国・三重	11. 20	全国
36	わおマップ	12 月中旬	高速道路
37	プースカフェ	12. 25	長野(北信)
38	T-wang	12. 25	三河
39	オントナ	12. 27	北海道
40	信濃毎日新聞	1. 3	長野
41	poroco	1. 20	北海道
42	non rouge	1. 25	北海道
43	オントナ	2. 2	北海道
44	九州王国	2. 15	九州
45	大人の贅沢	2. 24	長野(北信)
46	中日新聞	2. 27	中部
47	tomato	3. 1	広島
48	週刊まつもと	3. 11	長野(中信)
49	Do!sul	3. 17	長野(北信)
50	週刊いな	3. 17	長野(南信)
51	週刊いいだ	3. 17	長野(南信)
52	E L F	3. 18	福岡
53	市民タイムス	3. 20	長野(中信)
54	シティライフ	3. 25	北海道

(4) 遠方・重点地域誘客強化事業

平成 25 年の遷宮に向けた観光入込客増大を目的に、市場動向から開拓の遅れている地域を重点地域として設定し誘客強化を図りました。市場規模、市場ニーズを調査した上でターゲット地域を絞り、広告展開を図ると同時に旅行会社への企画・商品造成営業などを行い、来訪者増大を目的とする利益創出を図りました。伊勢の認知度が低く公共交通機関利用が主となる来訪機会が少なかった北海道や九州地域等の遠方市場開拓については平成 19 年度より継続し、21 年度には新たに中国地方（広島県を中心）への展開を開始。また 22 年度には長野県へのセールス活動を本格化しました。北海道市場においては、さっぽろ雪まつり大通会場に伊勢の観光案内ブースを出展し、7 日間でおおよそ 13,000 人ものブース来場者（アンケート調査によるとブース来訪者 79%が道民）に伊勢の観光案内を実施し、道民の伊勢に対する興味・認識が向上し、市場開拓の成果を裏付けるものとなりました。

平成 20 年度より配布を開始した「伊勢おもてなしクーポン（配布は北海道、東北、中国、四国、九州に限る）」については、平成 22 年度も引き続き実施および販促を図りました。

【伊勢おもてなしクーポン】

(22年度) 配布数・・・1,235件－11,363部(企業、個人等含む)

利用実績・・・延べ920件

旅行商品化・・・JTB(中国・四国、九州、北海道)、ANA、JR九州
日本旅行(中国・四国、九州)、knt(中国・四国)等

(21年度) 配布数・・・740件－6,491部(企業、個人等含む)

利用実績・・・延べ796件

旅行商品化・・・JTB(中国・四国、九州、北海道)、ANA、JR九州
日本旅行(中国・四国、九州)、クラブツーリズム(九州)
knt(中国・四国)等

(20年度) 配布数・・・462件－7,064部(企業、個人等含む)

利用件数・・・951件(延べ数)

旅行商品化・・・JTB、ANA、日本旅行、kntほか

(5) 三重県協働事業

平成20年度より引き続き、三重県の行う観光施策に合わせた事業展開を図りました。市場動向に対応させるため、タイムリーな取組みに努めました。雨天時でもお楽しみいただける伊勢、夜の伊勢、二人で楽しむ伊勢、家族で楽しむ伊勢をテーマにパンフレットを作成し、Web展開を実施したほか、観光PR事業を展開しました。

(6) 外宮周辺魅力創出・発信事業(伊勢商工会議所共同事業)

外宮前観光案内所前で観光客に参宮木札を配布し、その木札を目印に伊勢市・鳥羽市・志摩市内の各店で施行(せぎょう:おもてなし、サービス)を行い、江戸時代に流行したおかげ参りを復興し、伊勢志摩の滞留並びに周遊を促進しました。

なお、参宮木札の紐の色を観光客の居住地別に色分けし、またアンケートはがきを同梱することで、観光客の動向調査を行いました。

2 広域連携事業

(1) 広域観光振興事業にかかる各種協議会への参画

伊勢熊野観光連絡協議会・(社)三重県観光連盟・(財)伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・(社)日本観光協会・歴史街道推進協議会・伊勢志摩学生団体誘致委員会・全国街道交流会議・全国夫婦岩サミット連絡協議会に参画し、事業展開を図りました。

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

平成 17 年度から引き続き、平成 25 年の第 62 回神宮式年遷宮に向けた誘客の一環として、伊勢の旅行商品の開発、また、旅行会社向け資料を作成し、東海、関西、首都圏を中心に、全国の旅行会社への企画提案と流通促進を行いました。

当事業は、旅行業界の専門性を有する業者に業務を委託することで、特定の企業に偏る事なく、新規開拓も含め、あまねく広い対象を設けることで、伊勢への来訪客増大を目的とした商品販売促進を行うものです。業務の円滑化など、旅行会社等が活用しやすい環境整備を図っております。

平成 22 年度は、特に、食べ歩きクーポン、お伊勢さん観光案内人、CANばすの商品導入に力を注ぎました。

4 各種集大会等誘致開催補助事業

伊勢市で集大会を開催していただくことで、少しでも多くの方に伊勢へお越しいただき、経済波及効果につなげるため、本市で開催された集大会の主催者に対し、観光各種集大会補助金を交付しました。（8月31日までは、市内での宿泊1人1泊あたり300円の補助。9月1日からは要綱に定めた金額の補助。）

期 日	大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	交付確定金額 (円)
4.17 ～18	日本吟道奉賛会第50回伊勢 神宮奉納吟詠吟舞全国大会	591	337	伊勢シティホテル、 伊勢神宮内宮	100,000
5. 3 ～ 4	第3回 P u r o C U P	700	246	朝熊山麓公園フット ボール場	70,000
7.27 ～29	2010 プレインターハイユース 交流大会 I N 三重	900	385	朝熊山麓公園フット ボール場	110,000
7.30 ～8.1	ソシエタフェスティバル	400	274	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	80,000
8. 3 ～ 6	関西薬学生ソフトテニス大会	857	844	伊勢市市営庭球場	250,000
8.11 ～20	伊勢サッカー協会少年部・東 海大学合宿フェスティバル	758	630	朝熊山麓公園フット ボール場	180,000
8.28 ～29	ソシエタフェスティバルU 13	250	110	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	30,000
8.28 ～30	神宮奉納第19回日本少年野 球小学生三重大会	3,200	821	伊勢市倉田山公園野 球場	240,000
9.18 ～19	第6回 J F A 三重ガールズサ ッカーフェスティバル I N 伊勢 志摩	700	115	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	60,000
10. 2 ～ 3	第6回神宮奉納全国惑ラグ ビー伊勢大会	710	303	朝熊山麓芝生競技場	120,000
10.16 ～17	神宮奉納全国生涯野球チ ア・アップ伊勢大会	850	265	三重県営大仏山公園 野球場他	90,000
11. 5 ～ 7	第7回全日本女子フットサ ル選手権大会	810	291	三重県営サンアリーナ	90,000
11.13 ～20	神宮奉納第9回日本少年野 球中学生三重大会	4,200	836	伊勢市倉田山公園野 球場ほか	270,000

11.18 ～24	第48回伊勢神宮奉納第58回全 日本学生弓道王座決定戦 ほか 3大会	1,049	807	伊勢神宮弓道場	270,000
12.11 ～18	第1回日本少年野球心のふ るさと伊勢さん大会	2,850	745	伊勢市倉田山公園野 球場ほか	240,000
12.23 ～25	第4回おおいな杯ユース サッカー大会	900	218	朝熊山麓公園フット ボール場	90,000
12.25 ～26	第33回東海ミニバスケット ボール大会	2,000	1,032	三重県営サンアリーナ	330,000
1. 9 ～10	第17回花岡サッカー少年団 招待試合	960	120	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	60,000
1.29 ～30	第16回サンアリーナカップバ スケットボール大会・第31回 三重県中学生新人バスケット ボール大会	3,000	105	三重県営サンアリーナ	60,000
2.11 ～13	第2回U11伊勢招待少年サ ッカー大会	1,290	151	朝熊山麓公園フット ボール場（人工芝）	60,000
2.18 ～19	「なごみ」バレーボール親睦 交流会	99	44	三重県営総合競技場 体育館サブ	10,000
2.19 ～20	第2回おひなさまカップ i n二見	328	103	朝熊山麓公園フット ボール場	60,000
3.12 ～13	第2回FC TREVO招待 TREVO CUP	1,000	113	朝熊山麓公園フット ボール場	60,000
3.19 ～21	第14回伊勢市高校サッカー フェスティバル	882	332	朝熊山麓公園フット ボール場ほか	120,000
3.26 ～30	平成22年度日本陸連ジュニア 強化合宿全国高等学校陸 上競技春季選抜合宿練習会	1,735	1,359	三重県営総合競技場 陸上競技場ほか	390,000
3.27 ～29	朝熊招待ユースサッカー大 会 2011 春	950	202	朝熊山麓公園フット ボール場	90,000
計	26 件	31,969	10,788	—	3,530,000

5 伊勢志摩広域観光活性化事業

(1) (社)伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構（平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化）に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業、地域観光圏整備事業を展開しました。

(2) 伊勢志摩キャンペーン事業

10月から3月まで、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道（株）などと共同で「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、東京・大阪・名古屋地区等において、伊勢志摩の観光PRを実施。ガイドブック、チラシ、ポスターを作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布して、伊勢志摩地域の情報発信及び旅行会社とタイアップによる誘客を展開しました。

6 外国人観光客誘致推進事業

伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会が、昨年に引き続き中国で観光客の誘致活動を実施するにあたり、当市においても外国人観光客誘致活動を行ってきたところです。平成17年7月25日より、中国国内の団体旅行ビザの発行区域が全土へ拡大し（平成22年7月に中国のビザ緩和）、中国は大きな訪日旅行マーケットとなっていますが、景気動向、原油価格の変動、平成22年9月の尖閣諸島諸問題等によりその状況は刻一刻と変化しています。

そんな中で、平成22年度は、4月にインバウンド観光フォーラム交流会、7月にインバウンド・シンポジウム、11月にランドオペレーター招聘事業、3月に中国（北京）誘致ミッションならびに欧州旅行見本市出展・セールスコールにそれぞれ参加するなど、外国人観光客誘致を推進しました。また、外国人観光客誘致促進にかかる各種団体実施の現地視察における対応を行い、首都圏等における関係各者への営業活動を実施しました。その他、伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会実施の中国富裕層対象旅行商品造成事業、三重県外国人観光客誘致促進協議会、東海地区外国人観光客誘致促進協議会等へ参画しました。また、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語、ドイツ語、フランス語のパンフレットを新たに作成し、外国人観光客誘致のツール作成をし、利活用を図りました。

○ その他

1 観光行事等への後援

各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行いました。

開催日等	名称
4～3 毎月末	みそか寄席
5. 2～16	第20回朝熊山つつじ祭
9. 12	第55回ミス伊勢志摩選定会
11. 5	全米女子プロゴルフ協会公式戦2010 ミズノクラシック～伊勢志摩～
11. 13	「江」ふるさとキャンペーン小和田鉄男講演会
11. 14	MUSIC HEAVEN 伊勢2010
12. 12	検定「お伊勢さん」
3. 31	第1回日中国際写真コンテスト「感動！伊勢志摩の旅」

2 ふるさと雇用再生特別基金事業

雇用情勢の厳しい地域の実情に応じた雇用再生のために求職者等の雇用機会を創出する事業で、平成 23 年度末までの事業です。

(1) 観光地における災害避難マニュアル作成モデル事業

市内最大の観光地「おはらい町」で災害発生時の災害避難マニュアルを作成し、災害時に従業員および住民がスムーズに観光客を誘導できるような仕組みづくりを行います。平成 22 年度はおはらい町への流入人口の把握、来訪者への情報提供方法の検討、災害予測シミュレーションの作成、ワークショップの開催などを実施しました。

委託先：伊勢おはらい町会議

委託金額：8,879,104 円

委託期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

(2) 伊勢市観光推進事業

観光客誘致の推進のため、市内の観光情報を総括する地元密着型のホームページを作成するとともに、着地型旅行商品等の企画を行います。平成 22 年度は、ホームページに関しては、モバイルサイト、英語サイトの内容を充実させ、日本語サイトと同程度まで情報量を増やしました。また、新着情報の更新頻度を上げることにより、最新情報を発信しました。着地型旅行商品に関しては、地域の観光資源の掘り起こしを行いました。

委託先：社団法人 伊勢市観光協会

委託金額：9,310,843 円

委託期間：平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

観 光 事 業 課

○ もてなし心醸成事業関係

1 年末年始旅客の受入対策

地元 12 団体による外宮前大晦日会が外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客をもてなした。

伊勢市観光協会は、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅を各 4,000 個配布するとともに、文化の発信に努めた。

また、伊勢市は、1 月 1 日から 3 日に伊勢市駅前広場で湯茶のふるまいと観光案内を行い、初詣客を出迎えた。

2 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 第 42 回全日本大学駅伝対校選手権大会

11 月 7 日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。市内 9 の太鼓団体が沿道で選手を歓迎応援し、ゴール地点の内宮前にて景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

(2) 第 29 回お伊勢さん健康マラソン大会

11 月 29 日（日）に開催されたお伊勢さん健康マラソン大会のおもてなし部門として、前日に二見プラザにてウェルカムパーティーを開催した。

また、大会当日は会場内の物産展等で使用できる「お伊勢さんチケット」を作成したほか、市内入浴施設の協力のもと大会参加者への入浴案内を実施した。

沿道では、市内 9 の太鼓団体が全国から参加した選手の歓迎と応援を行った。

(3) 第 4 回美し国三重市町対抗駅伝

2 月 20 日（日）に津市県庁前から伊勢市にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置したほか、市内 12 の太鼓団体と伊勢市婦人会連絡協議会の皆さんが選手の歓迎と応援を行った。

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

外宮前及び宇治山田駅構内における運営業務を（社）伊勢市観光協会に、二見浦観光案内所における運営業務を（社）伊勢市観光協会と二見浦観光物産組合に委託した。また、外宮前、宇治山田駅構内観光案内所は県内では数少ない外国人観光案内所（V案内所）に指定されており、外国人旅行者に対しても観光案内を行なった。

委託金額 9,941,400 円（契約期間 平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

(1) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	6,962	9,750	5,316	6,386	8,713	8,048	8,886	9,267	6,278	12,091	7,648	8,055	97,400
外国人 件数	310	218	168	217	275	161	218	198	137	76	74	101	2,153

(2) 宇治山田駅構内観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	2,364	3,343	1,863	2,447	3,459	2,515	2,606	2,897	1,991	3,085	2,489	2,887	31,946
外国人 件数	74	41	30	53	70	25	54	37	42	31	39	31	527

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	704	1,009	634	723	1,479	1,084	998	1,001	818	2,048	1,117	831	12,446
外国人 件数	66	34	22	45	45	30	25	16	15	9	9	20	336

2 (社) 伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動した。

財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、5,860,000円を助成した。

3 伊勢市駅観光案内所整備事業

東海旅客鉄道（株）伊勢市駅構内に観光案内所を開設するための設計と工事を行い、開所準備を進めた。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
吹上1丁目 地内	(注) (仮称)伊勢市駅構内 観光案内所改修工事 設計業務委託	観光案内所実施設計 床面積 約 50 m ²	円 1,018,500	22.10.1	22.11.29

(注) 都市計画課施行

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目 地内	(注) 伊勢市駅観光案内所 電気設備設置工事	観光案内所整備工事 延面積 50 m ² 程度	円 1,260,000	23.2.17	23.3.25
〃	(注) 伊勢市駅観光案内所 整備工事	観光案内所改修工事 延面積 50 m ² 程度	6,658,050	23.2.21	23.3.25
計	2件	—	7,918,050	—	—

(注) 都市計画課施行

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 La Festa Primavera 2010

近畿地方を中心とした4府県を走るクラシックスポーツカーの祭典「La Festa Primavera 2010」が開催された。4月19日（月）には伊勢神宮内宮周辺のスタンプポイントに53台が通過し、イベントの安全管理について、主催者及び地元と協力して誘導を行った。

2 おもてなしスキルアップ事業

近年増加している伊勢を訪れる外国人観光客に特化したおもてなしを考え、活動していく団体「Welcomeいせの会」を設立した。

また、英語、韓国語、中国語、日本語に対応した行き先案内をサポートする「案内カード」を作成した。

3 第3回美し国三重「寄せ植え」コンテスト

5月22日（土）、23日（日）に外宮参道で三重県種苗園芸協会の主催により、第3回美し国三重「寄せ植え」コンテストが開催された。コンテナガーデン部門、ハンギングバスケット部門、マスター&プロ部門で競われ、県内から241点の作品が外宮参道に展示された。

来場者 12,000人

4 西条だんじり来勢

総数11台、800名の規模の西条だんじり来勢に向けて準備を行った。10月30日（土）、31日（日）は荒天のため来勢が中止となったが、（社）伊勢市観光協会を中心に西条だんじり受入実行委員会を組織し、もてなしや周辺の警備、地元住民との調整等を行い、西条市とも交流を深めた。

5 奉祝行事の受入れ

全国各地から宇治橋、風日祈宮橋及び火除橋の完成を奉祝し、来勢した行事等を地元団体とともに受入れを行った。

9月24日（金）戸畑祇園天籟寺大山笠奉納行事（福岡県）

11月6日（土）越中福野夜高祭（富山県）

11月6日（土）えびす町内会 つなぐ葦船プロジェクト（愛知県）

○ 観光行事振興事業関係

1 全国花火サミット開催記念第58回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成22年7月17日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された52業者の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部52組、スターマインの部10基の2部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉約9,000発が打ち上げられ、約23万人が観覧した。

大会中盤には、同時開催した「全国花火サミット」を記念したワイドスターマインを放揚した。今回もNPO団体の協力により、75名のボランティアが、ごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

大会翌日には全国 11 団体の主要な花火大会による「全国花火サミット」を伊勢市で初めて開催した。神宮司庁、河合真如氏の基調講演「花火と日本人と式年遷宮」をはじめ、各花火大会のPRなどを行った。

2 春まつり【平成 22 年 4 月 1 日（木）～10 日（土）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（社）伊勢市観光協会が主になって運営し、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を迎えた。

来場者 25,000 人

3 日本観光交流・伊勢会議

5 月 19 日（水）に（社）伊勢市観光協会とともに「第 6 回日本観光交流・伊勢会議及び第 43 回観光祈願祭」を開催し、東日本旅客鉄道（株）常務取締役、見並陽一氏の基調講演「観光開発により地域活性化」や観光関係事業者等によるセミナーを行った。

○ 伝統文化推進事業

1 伊勢のまつりブランド化推進事業【平成 22 年 10 月 15 日（金）～16 日（土）】

15 日（金）には外宮前「お木曳の道」（県道伊勢南島線）にて日本全国の有名な祭り 21 団体、約 900 名による響演「祭りのまつり」が開催され、外宮前では参加団体のふるさとの特産品や伊勢志摩の食と物産市「神嘗エンヤ市」も行った。

また、15 日（金）、16 日（土）には、伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳が実施された。

観客数延べ 131,000 人 参加人数 4,960 人

2 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年に行なわれるお白石持行事に向けて、2 月 11 日（祝）に第 62 回神宮式年遷宮御白石奉獻本部並びに奉獻団連合会を結成した。

また、お白石持行事のリーフレットを 3 回、合計 18 万部発行するなど、情報発信に努めた。

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開催日	名称
22. 4. 4（日）	第五十五回神宮奉納大相撲
4. 18（日）	COUNTRY HEAVEN 伊勢 2010
4. 18（日）～ 4. 21（水）	La Festa Primavera 2010
5. 5（祝）	猿田彦神社 御田祭
5. 5（祝）	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 19（水）～ 5. 20（木）	第 6 回日本観光交流・伊勢会議（第 43 回日本観光祈願祭）
5. 22（土）～ 5. 23（日）	第 26 回どんどこ祭り
5. 22（土）～ 5. 23（日）	第 22 回伊勢楽市

22. 5. 23 (日)	伊勢神宮奉納 読売日本交響楽団メンバーと皇學館大学雅楽部メンバーによる和洋の調べ
6. 12 (土) ~ 7. 19 (祝)	「平成のおかげ参り」企画展
6. 27 (日)	伊勢志摩舞祭り
6. 27 (日)	民踊舞踊発表会 正木豊紫華 第一回民踊まつり
6. 29 (火)	おもてなし三重観光ボランティアガイド連絡協議会 平成 22 年度総会及び全体研修会
7. 4 (日)、9. 5 (日)	G H E T T O R E D H O T
7. 14 (水)	第 26 回二見大祭しめなわ曳
7. 21 (水) ~ 7. 22 (木)	第 2 回伊勢市長杯ユースサッカー大会
7. 31 (土)	神宮奉納伊勢薪能
7. 27 (火) ~ 7. 29 (木)	2010 プレインターハイユース交流大会 I N 三重
8. 1 (日)	八朔参宮「第 13 回外宮さんゆかたで千人お参り」
8. 15 (日)	R A G G A B L A Z E F E S T I V A L 2010 ラガフェス I N 三重
9. 4 (土) ~ 9. 5 (日)	第八回神恩感謝 日本太鼓祭
9. 23 (祝)	第 1 回伊勢なでしこからの招待状 伊勢音頭でもてなそう 「舞・津軽三味線」
9. 24 (金)	戸畑祇園天籟寺大山笠奉納行事
10. 2 (土) ~ 10. 3 (日)	第 6 回神宮奉納全国ラグビー伊勢大会
10. 8 (金) ~ 11. 7 (日)	えびす町内会 つなぐ葦船プロジェクト
10. 14 (木) ~ 10. 15 (金)	第 10 回神嘗奉祝祭「祭りのまつり」
10. 16 (土)	大仏山公園オータムフェスティバル
10. 17 (日)	第 13 回伊勢の伝統の能楽まつり
10. 20 (水) ~ 10. 28 (木)	第九回「伊勢神宮展」
11. 1 (月) ~ 11. 15 (月)	猿田彦神社七五三祭
11. 5 (金)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
11. 5 (金) ~ 11. 6 (土)	伊勢ヨイ夜ナ
11. 6 (土) ~ 11. 7 (日)	第 23 回伊勢楽市
11. 7 (日)	秩父宮杯第 42 回全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 21 (日)	夫婦の町の中心で愛を叫ぶ“めおチュー”
11. 21 (日) ~ 11. 22 (月)	真珠婚おかげ参り 真珠婚おかげ参り W e l c o m e P a r t y
12. 12 (日)	第 22 回伊勢民謡まつり
12. 23 (祝) ~ 12. 25 (土)	第 4 回おこないカップユースサッカー大会
12. 28 (火) ~ 23. 1. 1 (祝)	第 38 回伊勢迄歩講
23. 1. 10 (祝)	神宮奉納正月音楽祭 伊勢物語
2. 27 (日) ~ 24. 1. 22 (日)	お伊勢参りハイキング
2. 19 (土) ~ 2. 20 (日)	第 2 回おひなさまカップ i n 二見
2. 24 (木) ~ 3. 1 (火)	第十回「伊勢神宮展」
3. 19 (土) ~ 3. 21 (祝)	第 14 回伊勢市高校サッカーフェスティバル
3. 21 (祝)	「わいわい広場 2011」 i n サンアリーナ
3. 27 (日) ~ 3. 29 (火)	朝熊招待ユースサッカー大会 2011 春